

平成15年11月28日

新市名称 公募結果

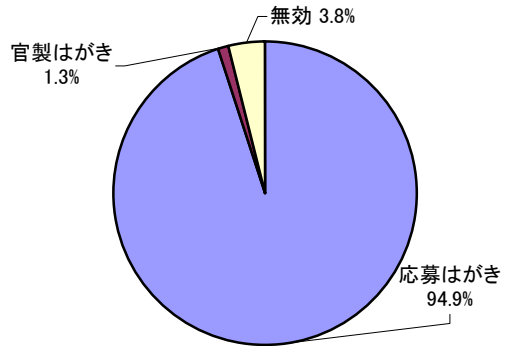
一宮市・尾西市・木曾川町合併協議会

新市建設計画作成等小委員会

応募状況

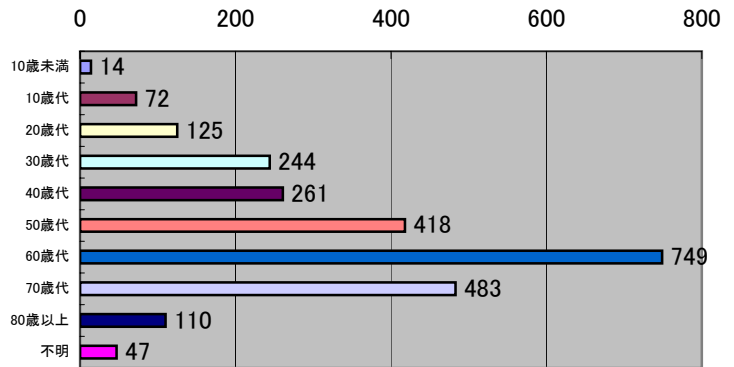
応募方法別

応募方法	件数	構成比
応募はがき	2,490	94.9%
官製はがき	33	1.3%
小計	2,523	96.2%
無効	101	3.8%
合計	2,624	100.0%



年代別

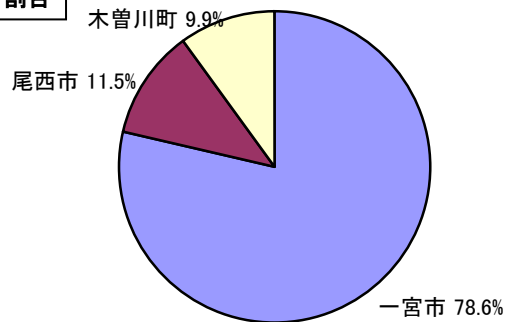
年代	件数	構成比
10歳未満	14	0.6%
10歳代	72	2.9%
20歳代	125	5.0%
30歳代	244	9.7%
40歳代	261	10.3%
50歳代	418	16.6%
60歳代	749	29.7%
70歳代	483	19.1%
80歳以上	110	4.4%
不明	47	1.9%
総計	2,523	100.0%



居住地別

居住地	件数	構成比
一宮市	1,983	78.6%
尾西市	289	11.5%
木曽川町	251	9.9%
総計	2,523	100.0%

居住地別応募者割合



参考: 応募率(対配布数)

市町名	たより配布数	応募率
一宮市	98,100	2.0%
尾西市	20,200	1.4%
木曽川町	10,500	2.4%
総計	128,800	2.0%

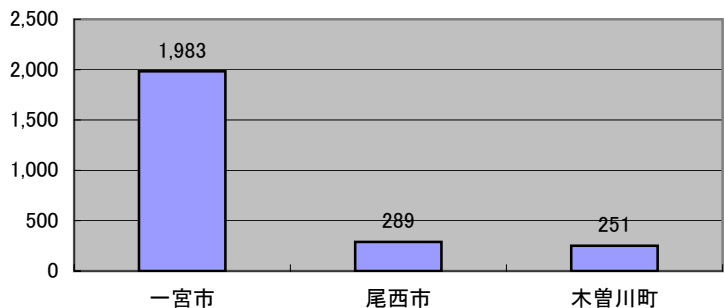
※臨時号配布数

参考: 応募率(対人口)

市町名	人口	応募率
一宮市	282,029	0.7%
尾西市	58,864	0.5%
木曽川町	32,126	0.8%
総計	373,019	0.7%

※H15.5.1現在人口

居住地別応募者数



応募名称一覧（50音順）

応募名称の種別
298 種

※複数応募名称の理由については、代表的なものを例示

新市名称	応募件数	理由
あい市	1	覚えやすく記憶に残り、愛知で一番のいいいちのみやも考え、3市町合併で三文字としました。
愛一宮市	1	皆が愛する町に。
愛彩市	1	愛知県の西にあり、毛織物に彩るというイメージがあるから。
愛三市	1	2市1町呼名明解です。
愛棧市	1	共に2市1町合わせて共に棧橋のように愛する町作りにしましょう。
愛市	1	一人ひとりがもっと愛を知る市として、全国のモデル都市になるぐらいの市になるように心をこめて。
愛深市	1	愛を知るは愛知、ならばその愛を深めようという意。
愛西市	6	愛知県の西部地方でみんなに愛される市になってほしい。
あい市	4	県と同じ名前が覚えやすいこと。愛して住みやすい町になることを願って。愛子様と同じ愛を入れて末永い繁栄の願いを込めて
愛知市	4	愛と呼ぶ県名の中に愛の市もあつたらよいと思いました。満ちあふれる木曾川の水のごとく愛の育まれる願いと共に。
愛北市	6	愛知県の一番北に位置する市という意味をこめて。
愛北城市	1	愛知県の北にある城にしたい。
愛宮市	1	「愛・地球博」を記念して。
愛夢市	1	愛と夢がいっぱいあふれる市をつくりたい。日本全国民の度肝を抜く名前で知名度アップ！
愛流市	1	「愛」は愛知県の愛であり思いやりの町の愛でもあります。「流」は2市1町を流れる木曾川の清流のことです「愛」が「流」れる新都市のイメージ名です。
暁市	1	「物事が現実・完成するその時」を意味する漢字であることから、現在の2市1町が合併することによってよりよい完成された新市になるように。又、音の響きもよいので。
あかるい市	1	あかるい世の中、あかるい市でいたいです。
あけぼの市	1	新規一転の名称の方が覚えやすいと思いました。
あすなる市	1	明日は成る！新市の発展の願いを込めて。
あまのがわ市	1	織物の地で木曾川の恩恵を受けて生活している地で子供からも老人からも星に願いを込めて夢のある市を作っていけたらと思いました。
天の河市	1	特産＝織物による七夕祭、木曾川を含む2市1町の地系的環境を考えて。
新市	3	新たな気持ち。新たな時代。
いおぎ市	1	各市町の頭文字。
一西木市	2	一文字を残す。
いち市	2	日本一。
一尾川市	5	一文字ずつとって。
一尾市	2	一宮＝一。尾西＝尾。を取って。
一織市	2	一番はじめの一と郷土産物の織物を合体。
一木曾尾市	1	2市1町の頭文字。(合併したことがわかりやすい)
一西川市	1	一文字ずつ。
一虹市	1	2市1町共に川があり、自然を表わしている。育てがいがある町名。価値ある町
一宮尾川市	1	全国的に知られているのはやはり一宮市。尾西の尾と、木曾川の川をいただいてはいかがでしょう。四文字では日本ではありませんが字数は少ないのでバランスが取れていると思います。
いちのみや尾張市	1	
一宮市	1,273	愛着がある。 新しい名称にすると事務手続等無駄が多い。 きれいな響き。 これからは高齢化になり簡単に書ける一宮市が良いと思います。 全国的に知名度が高い。 名前が大好きだから。 慣れ親しんだ市名ですし、一番始めは一宮と歌にも出てくる市名を変えない方がいいと思うから。 日本中で一の宮はたくさんありますが、市名で成っているのは我が市のみです。 真清田神社の門前町である一宮の名前はぜひ残してほしい。 歴史と伝統のある名称。
いちのみや市	19	「いちのみや」と「いちみや」と言う人がいるため、統一してほしいのでひらがなを希望します。 わかりやすく、やさしい感じ。
一の宮市	10	一宮市は2市1町では最も知られているが、「いちのみや」「いちみや」と読み方が今ひとつ浸透していないため。
一ノ宮市	5	漢字の読みがはっきりするから。
イチノミヤ市	1	わかりやすい。
一のみや市	1	「いちのみや」はきれいな言葉でのこしておきたい。
一之宮市	1	

新市名称	応募件数	理由
一宮リバーサイド市	1	3市町共木曽川に接し尾張西部に位置している一宮市をリーダーにし、名古屋市中心の方向へ発展新しいイメージとしてカタカナを入れた。
いちびき市	11	各市の一字をひらがなにしてソフトな感じに。
イチビキ市	1	2市1町、忘れる事のないように。
一尾木市	104	2市1町の頭文字を取り、市民に一尾木(ひびき)を感じる市をイメージしました。
一美喜市	1	2市1町の存在を重視。日本一美しく住みやすい喜び溢れる市。
市尾木市	1	平等の市になるように。
いちみや市	5	「いちみや」と間違えやすかったし、「さいたま」や「ひたちなか」のように親しみやすいようにそれといちのみやの名を残したい。
一三八市	1	一宮市のシンボルである「138タワー」の名をもっと広めたいと思ったから。
一宮西川市	1	一字ずつとる。
一光市	1	一宮の(一)を残したい気持ちと輝きある(光)を組み合わせたい気持ちで
糸結市	1	織物の町を連想させる漢字。糸を結んだ時のように手と手を取り合って仲良くできるように。愛知県と並べると愛を知って糸を結ばれる。
いびき市	8	頭文字の語呂合わせ。
一尾木曾市	1	
いぶき市	3	3市町から伊吹山を見る。
伊吹市	2	伊吹山の東に広がる大きな平野の発展を願って。
息吹市	1	2市1町の頭文字をとっていびき。地場産業の低迷の中で新しい芽が次々と吹き出し活力のある市に生まれ変わることを願って。
いろは市	1	新市の誕生の始めの一步は市民に分かりやすく、優しいまちづくりをしていく。つまり「いろは」はこの象徴である。
ウール市	1	もう一度活気ある街、やはり産業が基盤になると思います。
美市	1	美しく広がる濃尾平野。美の追求をするデザイン、テキスタイルなどの産業。尾州の名称にちかい音等で考えました。
栄光市	1	合併により栄え光り輝きのある市になるよう心をこめて。
愛知西市	2	愛知県の西地区位置。愛知を「えち」と呼べる。
尾一西川市	1	尾張の地名としてわかりやすい。
おいち市	2	尾張一宮市の5文字を略した。
桜花市	1	桜の花みたいに華やかな市になってほしい。
織田市	2	昔、織田信長の一族に支配されていたから。
織一市	1	織物産地の市町です。
御宮川市	1	合併が多い中、新しい名前にも実感が少ないことが多い。今までの名前をそのまま残し一宮の「宮」は「お宮さん」木曽川の「川」そして尾西の「尾」を敬いの気持ちで「御」としました。範囲は広くても気持ちは一つの市にしたいものです。
尾宮川市	1	一字ずつ。文化と歴史にふさわしいと思いました。
尾宮木市	1	一字ずつ。
尾宮市	1	尾張の中心都市で、尾張一宮神社の所在地でもあるので。
織川市	3	織物にまつわる町と木曽川の川もその存在を忘れないように。
織郷市	1	織物の古郷。
織市	1	織物の町であることを知ってもらう為には分かりやすく覚えやすい方がよいと思うので一字にしました。
織曾市	1	旅行先で「どちらから？」と、織物の町尾西ですよお出かけください。と、挨拶しております。木曽川を愛している市民町民一昔前お隣が木曽川町と名付けられたのもそのような由来があると思います。
織づる市	1	繊維が盛んな町のシンボルとして「織」をつかい「づる」は長く栄えるとの希望を含んだ市に住みたいと思い。
織都市	5	織物の都を再復活させ又ファッションの町をアピールする為。
織入市	1	繊維が盛んなこの地域と人と人が織り成す豊かで幸せに満ちた毎日をおくれる市となるよう願いを込めて。
織宮市	1	繊維産業を中心として発展してきた歴史があり、今回の合併を機にして名を残す意味も含めて。
織姫市	9	織物という文化と七夕まつりという一大イベントをイメージしたもの。
おりひめ市	6	織物の神様であり、織物の町、繊維の町を連想させます。
おり姫彦ぼ市	1	織物が盛んな地域であり、また有名な七夕祭りがあるため。
織部市	1	2市1町は昔から織物の町として発展した為、その伝統をずっと名前として残したいから。
織基市	1	2市1町は織元の町であった。
織物市	2	織物の産地である。
尾張一市	3	尾張で一番暮らしよい市にしたい。

新市名称	応募件数	理由
尾張一宮市	262	JR駅名と同じ。名神高速道路のPAと同じ。 あまり大きく変えたくない。 一宮という名称はどこにもあるが、尾張という歴史的な誇れる地名はありません。大きくなって、より強調してほしい。 尾張一のお宮(真清田神社)がある市ということで。 尾張の国一之宮と古い時代から呼ばれてきた名称で後世へ残すべき。
尾張一の宮市	4	一の宮はどここの地方にもある。尾張を強調するため。
おわりいちのみや市	3	
尾張いちのみや市	3	「一宮」という地名は全国的にも数多くあり、また漢字では「いちのみやし」と呼んでもらえません。「いちみやし」なんていわれています。尾張の地名も広げましょう。
尾張一ノ宮市	2	全国各地にある一宮の中で尾張を前面に出して存在地域の明確化と真清田神社との関係も一ノ宮の呼び名を統一する。
尾張一尾木市	1	現在の一文字をとって公平であるように。
尾一宮木曾川市	1	2市1町の名称を未来の子供たちに残したいため。
おわり一宮市	4	旧尾張の地名と新名が同一であることが必要だと思います。
おわりいちみや市	1	尾張を入れることで全国的に分かりやすい。
尾張いちみや市	1	全国的な知名度から見た。ひらがなにすることで目を引く様に。
尾張いびき市	1	尾張の2市1町。
尾張木曾川市	7	尾張という統合的な地名と町のそばを流れるシンボリックな川、木曾川の名前から考えました。
尾張さそがわ市	1	尾張平野を流れる木曾川をイメージして。
尾張木曾市	2	尾張地方は全国的に知名度が高く、そして一級河川である木曾川も知られている。
尾張北一宮市	1	尾張平野の一番北になること。一宮という地名はどこにもある、尾張を入れることにより場所がはっきりする。
尾張毛織物市	1	2市1町の基幹産業。
尾張三川市	1	尾張の地名を生かし、木曾川、長良川、揖斐川に属す有名な地形を表わす。
尾張市	141	尾張地方にあるから。 自動車のナンバーも「尾張小牧」だから。 将来の拡大も考えられること。 全国的に知られてる。 歴史的重みを感じる。
おわり市	8	尾張地方だから。漢字で書くより優しい感じがする。
オワリ市	1	歴史の上でもユイショある地域です。一寸現代風カタカナで。
尾張西部市	3	尾張の西部にふさわしいと思いました。
尾張西北市	1	尾張西北に位置。
尾張センイ市	1	センイの町。
尾張蘇水市	1	それぞれの西方に木曾川があるからです。
尾張七夕市	2	2市1町に古くから繁栄した地場産業の繊維に感謝し今後の新市に夢と希望を
尾張中島市	1	かつてこの地域は中島郡と呼ばれていた時期があったため。
尾張名古屋市	1	有名(書きやすい)
尾張西市	4	尾張西部に位置する市町の合併都市。
尾張西中央市	1	尾張の西中心的な新市としての発展を期す。
尾張の国市	1	江戸時代の当地方の藩の名称である「尾張」と一般的な藩の呼称「〇〇の国」に
尾張野市	6	地域の諸特性を表現し旧市町住民の皆がアイデンティティとして共有できる名称。さらに新しい地域のあり方を全国全世界へ伝えられる新しく創る名称。ひらがなによる「おわりの市」も可。「尾州」は元来広域を指す用語で半田等でも使用。また当地の古い産業・社会構造を彷彿とさせ、我が地域の新しい表現として、そのままでは不適當。なお結果的に新市名称が「一宮市」となるのも仕方ないと考えるが、このまま新しい行政のあり方が十分に市民で議論されず、まちづくりや地域づくりが明確に語られないまま従前の「一宮市」が継続するならば、市名の変更を強く主張したい。そうでもしないと変えられない根本構造がこの地にはある。変革の認識のない上滑りの市町合併は旧市町どの地域の住民にも将来に大きな禍根を残す。
おわり野市	1	2市1町をひっくるめた場合地域的にも地形的にも共通しているし、豊穡な尾張平野がイメージされてくる。これからの「スローライフ」「地産地消」に対応できる機能を持った尾張野であることを願って。
尾張の市	1	「尾張平野」の中心2市1町合併と「の」が親しみの響きがいいから。簡単な字。
尾張尾州市	1	センイの街のため。尾州産地のアピール。車のナンバーも尾張尾州へ。
尾張平野市	1	雄大なる濃尾平野の穏やかな地理的、幾多の歴史ドラマ展開の地をイメージして。
尾張やよい市	1	古代から人が生活していたことから考えました。
梶宮市	2	一文字ずつとって。かじをとりながら発展。
一磨市	1	2市1町が一つになり磨かれたものが出来上がるような市にしたい。

新市名称	応募件数	理由
川市	1	”母なる川”木曾川をイメージした。川の字の線の長さで市町の大きさを表わした。一宮市尾西市で木曾川町を包み暖かさを強調した。
川並市	1	木曾川沿川地域。
川の守市	1	木曾川に囲まれ、川に守られているし、これからは川を守っていかなければならないと思うから。
川端市	1	木曾川の懐に包まれた都市。それは2市1町が地理上の共通点であるから。
木一尾市	1	木曾の川に仲良くはさまれ尾張一円ゆたかな市である。
ききょう市	1	
木西一市	1	一文字とって。
きずな市	1	現代は銀行等もひらがな名称も多いので人と人とのつながり、3市が輪になり市の向上によいのではないか。
木曾川三市	1	すべて木曾川堤防沿いにある。
木曾川市	63	2市1町木曾川に面しているから。 木曾川にはぐくまれた土地。 木曾川の恩恵を受けている。 世界に通用する他になく地名としてイメージしやすい。 知名度の高い「木曾川」の名前をいただき、自然の雄大さ美しさをアピールした
きそがわ市	7	全国的に知名度のある「木曾川」をさらに親しみやすくひらがなにする事で新市の名称にふさわしいと思われる。
木曾三市	1	木曾川沿線2市1町合併での新市誕生。1、木曾川を守り。2、木曾川を育て。3、木曾川と共に繁栄を願う。
木曾三川市	2	国立公園でよく知られている。
木曾西市	1	三町の名前を入れたいからです。
木曾西宮市	1	木曾川を中心とした愛知県の西にある都(宮)と考えました。
木曾宮市	1	長野県、岐阜県より伊勢湾への大河＝木曾川。伊勢神宮、熱田神宮、真清田神社＝一宮。
木曾乃宮市	1	木曾川に沿っていますので。
木曾宮尾市	1	2市1町の文字を組み合わせました。
北尾張市	2	旧国名の尾張地方を代表する名称であり全国的に知名度が高く親しみやすいことが一番であろうと思います。
北名古屋市	2	愛知県を代表する市知名度の高い名古屋の北に位置するから。 知名度が全国版のため、各市の面目が立つように。
木尾一宮市	3	一文字ずつ。
希望市	1	2市1町が合併して希望をもちつつけながらみんなのしにしていこう。
共生市	1	人が環境・自然と共存する事をめざし、人々が互いにその存在を認め合って共に生きる市をイメージした。
毛織市	1	
毛織物市	1	織物の産地として有名だから。
江西市	1	江南市ができたいきさつは当時の桑原知事が命名されたと聞く。理由は大河木曾川の南に位置するからとの事。それにならって当地方も大河木曾川の西方にあるので江西市がマッチするようです。
心入市	1	人の心が入った市となるように。
心市	1	おもいやりの町。
西輝市	1	愛知県内の西方に位置し光り輝く市。
西北市	1	愛知県の西北に位置する。
幸市	2	新市民の幸せを願って。
桜市	1	美しい市になるように。
さわやか市	1	木曾川の恵みに生まれ、清流の青さと秋空の様に澄みきった壮快感を味わえる市にしたい。
三愛市	1	2市1町が愛で結ばれるため親子、兄弟、夫婦の愛も表わす。
三合市	1	三つの市町の合併。
三生市	1	三つの市と町にて生まれる市である。
三川市	2	木曾三川、2市1町がますます発展するように。
三珠恵市	1	宝珠を2市1町の恵みの力として市の繁栄長久する。
三宮市	2	2市1町が合併して3なので。
三輪市	1	2市1町仲良く手を結んでいこう。
しあわせ市	1	個人としても誰もが願っていることだと思ひ、市としても幸せになることを目標としていけば発展もしていけるし市民も幸福になれると思ったので。
新愛知市	1	愛知県の代表として、誇らしい活気のある街づくりをモットーに命名。
新一宮市	22	新しく合併で生まれた新一宮市である。 その他
真一宮市	3	真清田神社の真を一字もらって真(本当)の素晴らしい市になるように願いを込めて。
清一宮市	1	清流木曾川に関わりある2市1町から生まれた証にサン(3)ズイ(水)偏の付く適切な語義を有する「清」を冠した。
新ウィーン市	1	ヨーロッパのウィーンのように日本のウィーンとなり世界的に有名になる。
新尾張市	5	新しく有名になる為には新しい尾張なんだと目立つためにこれがよい。
新木曾川市	1	豊かな河木曾川の自然が好きです。

新市名称	応募件数	理由
新成市	3	新しく成り立った(成立)市。
新生市	2	新しく生まれ変わる市という前向きなイメージから。
新聖市	1	新しい気持ちで生まれ変わり学識、技術に優れた町になるように思いを込めまし
新中京市	1	日本の真中。
新濃尾市	2	濃尾平野の一角に新しく誕生し発展してゆく都市。
新芽市	1	字のごとく新しく出発する市の名称にと考えました。
優市	1	自然や人(市民)に優しく、優れた市政を期待して。
昴市	1	一つにまとまる意の「統(すば)る」から。光り輝く感じ。
スリー、エイト、シティ	1	由緒ある3・8市をアピールする。3=2市1町。8=末広がり。
西部市	3	愛知県の西部地方にあるから。「西部警察のある西部市。犯罪ゼロをめざす。」をモットーにし知名度アップ。
清流市	2	木曽川の清い流れのもとで3つの市が仲良く発展するように名を付けました。
せんい市	2	地場産業を全国にPRできるし、ゴロも優しく覚えやすい。
センイ市	1	織物の町。
繊維市	1	繊維並にファッション産地。
そ水市	1	木曽川を蘇水と言われていたため。その恩恵を受けております。
蘇水市	1	頼山陽名詩の中に上記の詩あり木曽川を夢路して蘇水がよいと思います。
蘇東市	5	蘇は木曽川の旧名。その東の意味。
曾尾一市	1	一文字ずつ。
曾宮尾市	1	一文字ずつとって。
七夕市	9	七夕まつりから。
七夕の宮市	1	常に七夕祭りに感謝、期待しつつ健やかな街へ。ひらがなの「の」を引用したのはやわらかな感じが出たかったから。
タワーパーク市	1	山梨県のアルプス市のようにカタカナ明記にすることで、全国の人にも知っていただけのこと。タワーパークの展望台から町を一望できることで、全国の観光アピールにもなると思っています。
中京市	3	東の都東京、西の都京都、であり中間の都として中京市とする。
中部市	4	日本の中央に当たる地域だから。
町一尾市	1	まずは町づくりの理念そして、2市1町の中から1文字ずつとって読み方を変えて3つ揃ってのスタートなので超一押みたいなのですが。
巴市	1	巴のように2市1町の特徴や長所が同じ方向に向かい丸くまとまればと言う希望より命名しました。
豊宮市	1	2市1町が合併することにより「一」より「豊」かな市へさらに愛知県の中核市として豊田、豊橋とともに「豊」ブランドで全国的な知名度をアップ。
中宮市	1	中島郡の中と一宮市の宮にて中宮市。
仲間市	1	2市1町がこれから仲良く元気の市になってほしい。
仲良市	1	2市1町住民共に仲良く。
西愛知市	4	この際、愛知県の西に位置する所、知名・地名的にも。
西一宮市	1	ハローワーク前、名鉄無人駅からの新たな出発。
西尾張市	53	尾張の西に位置する。
西おわり市	2	尾張の地に誕生。
西木曽川市	1	木曽川流域に位置している。
錦宮市	1	尾西の「西」と木曽川の「木」で「西木」だが、美しく「錦」。一宮の「宮」を合わせ
西木宮市	1	一文字ずつとって。ちょっと皇族っぽいと思いました。
西名古屋市	3	名古屋市のおおよそ西側に位置し、大規模な新しい市として名古屋市に負けじと頑張ってもらいたい。
西濃尾市	1	濃美平野から命名した。
西宮市	1	愛知県の西部に位置するから。
西宮川市	1	愛知県の西にある川の近くにある町。
西宮木市	1	2市1町が平等になればいいと思います。
ニュー一宮市	1	新一宮よりもナウイ。
ニュー宮市	1	新しく合併するので、でも一宮市は残したい。
濃尾市	20	濃尾平野にあるから。
のうび市	5	古来より濃尾の地であり、伸び伸びと伸びゆく市であるように願いを込めて。
濃美市	1	名称が美しく土地を連想させる。
羽木市	1	木曽川の清流が大きく羽ばたくように。
葉栗市	3	一郡一町の木曽川町が合併されると「葉栗郡」が消滅してしまうから。
一市	3	簡単であること(住所表示など)何よりも一番である事(嫌がる人は少ない)インパクトがあり覚えやすい事。わざわざ難しい名称にしないで下さい。
はじめ市	1	一(はじめ)宮の由来を残したい。
はた織り市	1	織物産地の町。
美愛市	1	愛知県で一番の美しく何に(誰に)対しても愛情深い市になることを願って。
光市	1	未来に向かってあかるく進んでいこう!とする光をまとめた。
尾銀市	1	尾張地方のための「尾」と尾張ではなく始めようの「begin」をあわせ、また光り輝くように「銀」として。
尾西一宮市	1	合成名。
尾西市	6	尾張地方の西部にあるから。

新市名称	応募件数	理由
尾州一市	1	昔からの呼名である尾州で一番住み良い町になってほしい。
尾州一宮市	5	古来よりの名称が少しでも残る市名がよいと思う。
尾州市	22	毛織物の生産地を表わす名称として定着している。 地理的な理由そのまま。
ひだまり市	1	新市を新しくするという意味で今までの市町の名称的に関係のないものが良いと思いました。”ひだまり”は一宮タワー近辺のイメージから湧きました。自然もありあたたかいイメージから考えました。
ぴのう市	1	濃尾平野の中ですので。
ひびき市	2	新市民の声が新しい市に響く明るいイメージ。
杼美生市	1	はた織りで横糸を巻いた管を入れるもので繊維らしい美しい町が生まれる。
一二三市	1	一宮の一を残したい。二市と一町で。
尾北市	3	尾張の北部に位置するため。
ひまわり市	1	みんなが太陽の光を受けて「ひまわり」のようにすくすく育ちますように。一人ひとりが明日に向かって。
尾木一宮市	1	一文字ずつ。
平規織市	1	濃尾平野の恵まれた豊かな土地で、織物が栄えた地であり、将来他の模範となるようにと願いを込めた「規」という字を使って。
平都市	1	濃尾平の中心地として21世紀に発展してほしい。かつて一宮市が平野村であった
二重市	1	一宮市のシンボル「ツインタワー」のツインから二重です。
平成市	1	平成の年に合併になるので、思い出のため。
平成一宮市	1	現在の御世、新しい町(市)が誕生したことを世間に宣言、知らせる効果と後世まで引きつなげると考えました。
平野市	2	尾張平野を強調する。
平和市	1	いつまでも平和な市でありますように。考えました。
豊水市	1	全てに木曽川が流れており1年を通じ水が豊かにある。
豊成市	1	平成の世に新しく生まれた市が豊かに発展していくように。
豊都市	1	人材が豊か、歴史が豊か、緑が豊か今でもたくさん豊かなところがありますが、合併してますます豊かになればいいなと思っています。ホッとできる町「豊都市」なんてどうですか。
真木織市	1	真清田神社、木曽川、繊維を組み合わせました。
真清市	6	真清田神社にちなんで。
真澄市	2	清く正しい町。
真清田市	17	真清田神社にちなんで。
ますみだ市	3	真清田神社にちなんで。
真清宮市	1	シンボルの神社の名前です。
真中市	1	日本列島の中心。
萬葉市	1	歴史的由来を込めた名称にしたいから。
美織市	1	美しい織物を育ててきた町だから。
美川市	1	三市の中で木曽川と主として象徴的。それにあこがれ美しい川。
未絹市	1	未来を繁栄するため、尾張といえば昔絹が栄えたので今と昔を反映する意味
みさき市	2	一文字ずつ。
瑞穂市	1	2市1町は木曽川の清流に側し大切な水に恵まれて来た事は流れてなりません。古来から言われてる瑞穂の国一瑞穂市いかがですか。安らぎと潤いを感じ
三ツ愛市	1	愛知の「愛」そして、2市1町の最初の母音を「i」とし、各々が協力し合い人を愛しよりよい環境を築けたらと思考案しました。
三織市	1	2市1町が織物の町だから。
みつば市	1	2市1町の合併で新制都市として、がっちり1体となって緑豊かな住み良い街づくりを願って。
みつめあい市	1	お互いが見つめあって納得したまちづくりをしていけたらいいなあ。やっぱり見つめあってみる事が一番だと思ったから。
みどり市	1	自然を残しながら市が発展するように。
未明市	1	未来は明るくなるような都市にするように。
宮尾川市	14	一文字とって。
宮尾木市	7	一文字とって。
宮尾市	5	一宮市、尾西市の文字から。みやびと言う優雅な発音がよい。
宮川市	1	一宮タワーは一宮市のシンボルであり有名である事とそこに流れる木曽川の川
宮木尾市	1	2市1町を取って。平等で。
宮栗市	1	三文字で綴る。
宮西川市	6	一文字ずつ。
みやにし川市	1	一文字ずつとって。真清田神社を中心として尾張西部にある木曽川の恵みを受けた市なので。
宮西市	1	一宮市と尾西市をくっつけて木曽川町の名前もいろいろ考えたけどなんとなく・尾張の西という事と発展してほしいというおもいで「宮(都になってほしい)をつけてみやにし
宮西曾市	1	三つの市町が仲良く何事もできるように。
宮ノ梶市	1	木曽川・尾西を”梶”で表わし、七夕には古来より梶の葉が使われてきたことを知らしめ新しい市としてアピール出切るものと思います。

新市名称	応募件数	理由
みやびかわ市	1	古代語で「みやび」の意は「都会風で風雅なしぐさ、風流」というもので2市1町の少しづつの名をとったものでもあります。
宮美川市	1	一文字ずつとり、いつまでも木曽川が美しく流れるみやびな土地であるように。
みやびがわ市	2	雅、品がよく風流な様子。一文字ずつとって。
雅川市	2	一文字ずつとって、新市が「雅」をかもし出す、心豊かな街となるよう期待を込め
宮尾木曾川市	1	2市1町、心をつ一つにして新しい市となるように願いを込めました。
みやび市	2	三つの合称。みやびの言葉の様な都市になりますように。
雅市	1	「木曾川町」は町名として残ると考えられます。その上で、一宮の「みや」と尾西の「び」を合わせて「みやび」。そのままの漢字を使うのではなく、新しい市を創っていくという発想で又この地域の歴史や美しい景色をふまえてこの漢字をあててはどうでしょう。
宮美市	1	有名な、お「宮」のある一宮市と、木曽川の清流に沿った「美」しいまち、尾西市と木曾川町「みやび」やかな「市」であってほしい。
未来市	1	未来えいごう。
宮西木市	1	一文字とって。
名西市	1	名古屋市の西に地を持っている。
やすらぎ市	1	近年、幼児虐待、少年犯罪などがとても多い。みんなが安心して生活できる住み良い町になるよう安らぎのもてる暮らしができるように。
夢織市	4	織物の町であるので、「夢を織る」という夢のある市にしたいと思うためです。
ゆめおり市	1	繊維の町、夢を織る街としてのアピール。
リバーサイド市	1	字のごとく。
若鮎市	1	木曽川に鮎がいるということと、若い元気な鮎のような町になるように。
和市	1	広い心でなごやかに人の和をもって。
和平市	1	平和な市になりますようにと思ったのですが、平凡すぎるので反対にしてみました。
和楽市	1	平和で楽しい市でありますよう。
計	2,523	

応募内容分析

応募名称一覧（応募件数順）

新市名称	件数
一宮市	1,273
尾張一宮市	262
尾張市	141
一尾木市	104
木曾川市	63
西尾張市	53
新一宮市	22
尾州市	22
濃尾市	20
いちのみや市	19
真清田市	17
宮尾川市	14
いちびき市	11
二の宮市	10
七夕市	9
織姫市	9
いびき市	8
おわり市	8
宮尾木市	7
きそがわ市	7
尾張木曾川市	7
宮西川市	6
おりひめ市	6
愛西市	6
愛北市	6
真清市	6
尾西市	6
尾張野市	6
いちみや市	5
のうび市	5
織都市	5
尾州一宮市	5
一ノ宮市	5
二尾川市	5
宮尾市	5
新尾張市	5
蘇東市	5
あいち市	4
おわり一宮市	4
愛知市	4
西愛知市	4
中部市	4
尾張一の宮市	4
尾張西市	4
夢織市	4
いぶき市	3
おわりいちのみや市	3
ますみだ市	3
一市	3
織川市	3
新市	3
新成市	3
真一宮市	3
西部市	3
西名古屋市	3
中市	3
尾張いちのみや市	3
尾張一市	3
尾張西部市	3
尾北市	3
木尾一宮市	3
葉栗市	3
新生市	2
一西木市	2
西おわり市	2
平野市	2
いちい市	2
おいち市	2
せんい市	2
ひびき市	2
みさき市	2
みやびがわ市	2
みやび市	2
愛知西市	2
伊吹市	2
一織市	2

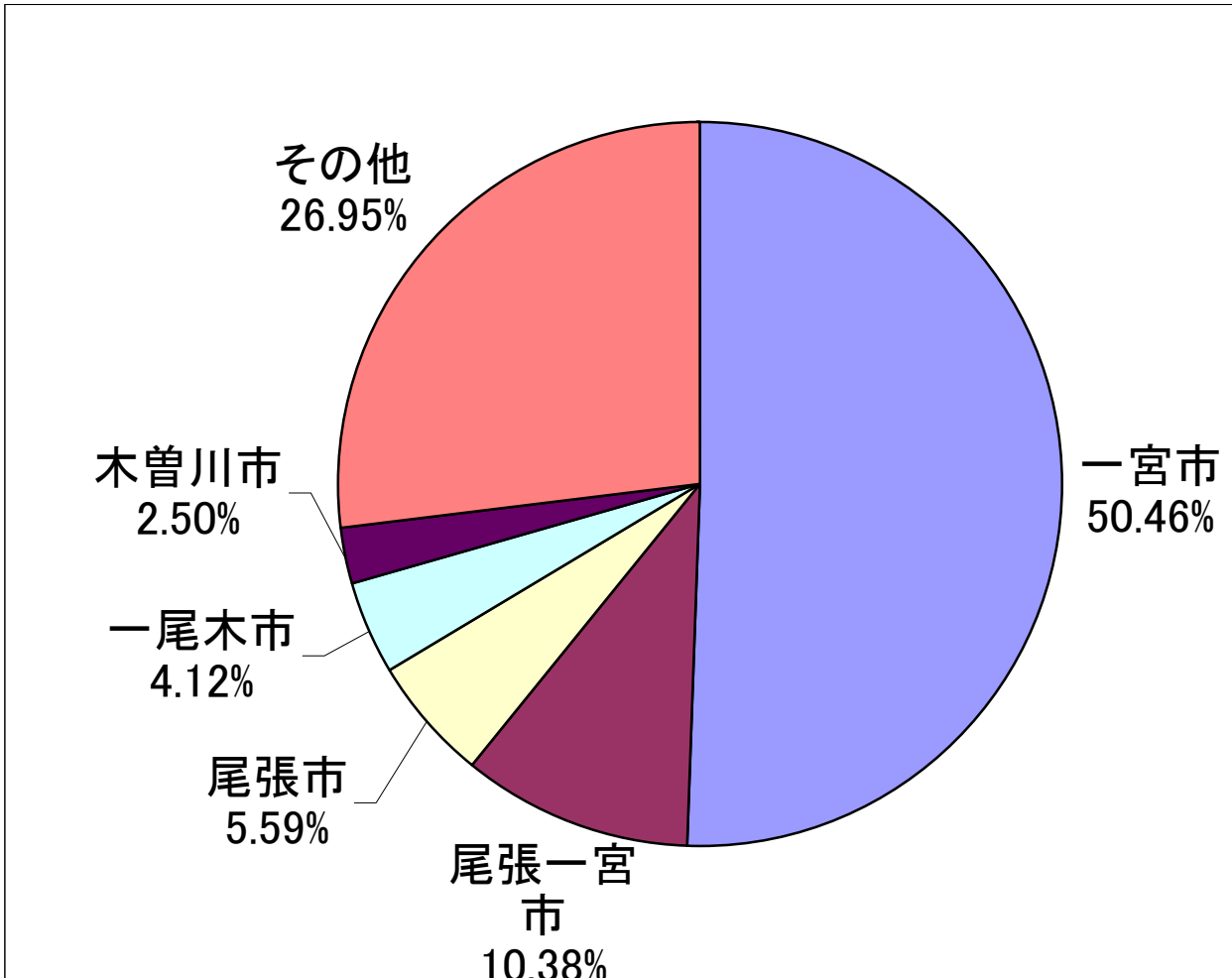
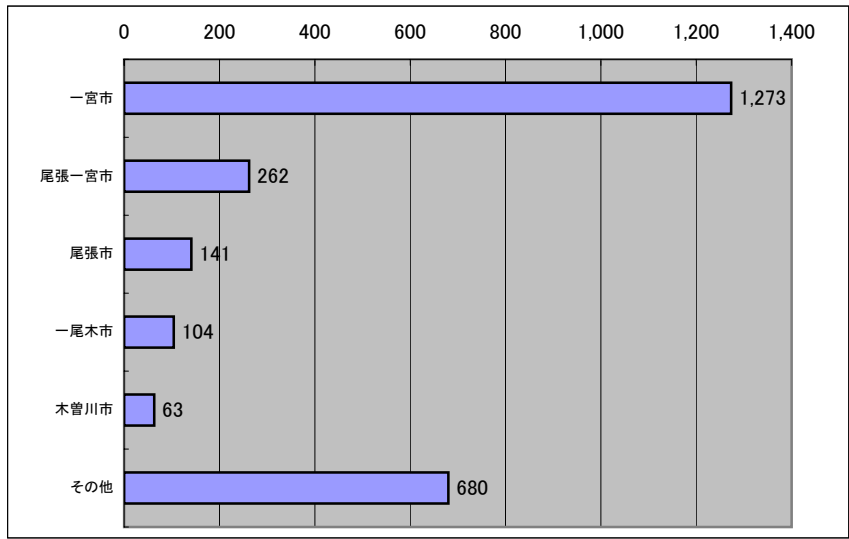
新市名称	件数
一尾市	2
雅川市	2
梶宮市	2
幸市	2
三宮市	2
三川市	2
織田市	2
織物市	2
新濃尾市	2
真澄市	2
清流市	2
尾張一ノ宮市	2
尾張七夕市	2
尾張木曾市	2
北尾張市	2
北名古屋市	2
木曾三川市	2
一虹市	1
あいい市	1
あかるい市	1
あけぼの市	1
あすなろ市	1
あまのがわ市	1
いおぎ市	1
イチノミヤ市	1
いちのみや尾張市	1
イチビキ市	1
いろは市	1
ウール市	1
おり姫彦ぼ市	1
おわりいちみや市	1
オワリ市	1
おわり野市	1
ききょう市	1
きずな市	1
さわやか市	1
しあわせ市	1
スリー、エイト、シティ	1
センイ市	1
そ水市	1
タワーパーク市	1
ニュー一宮市	1
ニュー二宮市	1
はじめ市	1
はた織り市	1
ひだまり市	1
ひのう市	1
ひまわり市	1
みつぼ市	1
みつめあい市	1
みどり市	1
みやにし川市	1
みやびかわ市	1
やすらぎ市	1
ゆめおり市	1
リバーサイド市	1
愛一宮市	1
愛宮市	1
愛彩市	1
愛三市	1
愛棧市	1
愛市	1
愛深市	1
愛北城市	1
愛夢市	1
愛流市	1
一のみや市	1
一宮リバーサイド市	1
一宮西川市	1
一宮尾川市	1
一光市	1
一三八市	1
一西川市	1
一二三市	1
一之宮市	1
一尾木曾市	1

新市名称	件数
一美喜市	1
一磨市	1
一木曾尾市	1
羽木市	1
栄光市	1
雅市	1
希望市	1
宮ノ握市	1
宮栗市	1
宮西市	1
宮西曾市	1
宮西木市	1
宮川市	1
宮尾木曾川市	1
宮美市	1
宮美川市	1
宮木尾市	1
共生市	1
暁市	1
錦宮市	1
御宮川市	1
光市	1
江西市	1
桜花市	1
桜市	1
三ツ愛市	1
三愛市	1
三珠恵市	1
三織市	1
三生市	1
三輪市	1
市尾木市	1
糸結市	1
七夕の宮市	1
若鮎市	1
織つる市	1
織一市	1
織基市	1
織宮市	1
織郷市	1
織市	1
織人市	1
織曾市	1
織部市	1
心市	1
心入市	1
新ウィーン市	1
新愛知市	1
新芽市	1
新聖市	1
新中京市	1
新木曾川市	1
真清宮市	1
真木織市	1
瑞穂市	1
清一宮市	1
西一宮市	1
西輝市	1
西宮市	1
西宮川市	1
西宮木市	1
西濃尾市	1
西北市	1
西木宮市	1
西木曾川市	1
川の守市	1
川市	1
川端市	1
川並市	1
織維市	1
曾宮尾市	1
曾尾一市	1
蘇水市	1
息吹市	1
中宮市	1
仲間市	1

新市名称	件数
仲良市	1
町一尾市	1
天の河市	1
二重市	1
濃美市	1
巴市	1
尾一宮木曾川市	1
尾一西川市	1
尾宮市	1
尾宮川市	1
尾宮木市	1
尾銀市	1
尾州一市	1
尾西一宮市	1
尾張いちみや市	1
尾張いびき市	1
尾張きそがわ市	1
尾張センイ市	1
尾張の国市	1
尾張の市	1
尾張やよい市	1
尾張一尾木市	1
尾張三川市	1
尾張西中央市	1
尾張西北市	1
尾張蘇水市	1
尾張中島市	1
尾張尾州市	1
尾張平野市	1
尾張北一宮市	1
尾張名古屋市	1
尾張毛織物市	1
尾木一宮市	1
美愛市	1
美織市	1
美川市	1
平規織市	1
平成一宮市	1
平成市	1
平都市	1
平和市	1
豊宮市	1
豊水市	1
豊成市	1
豊都市	1
未絹市	1
未明市	1
未来市	1
名西市	1
毛織市	1
毛織物市	1
木一尾市	1
木西一市	1
木曾宮市	1
木曾宮尾市	1
木曾三市	1
木曾西宮市	1
木曾西市	1
木曾川三市	1
木曾乃宮市	1
優市	1
和楽市	1
和市	1
和平市	1
昂市	1
杼美生市	1
真中市	1
萬葉市	1
美市	1
三合市	1
総計	2,523

全体

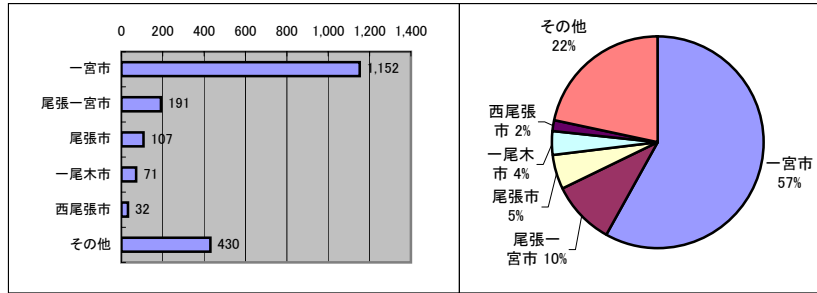
新市名称	件数
一宮市	1,273
尾張一宮市	262
尾張市	141
一尾木市	104
木曾川市	63
その他	680
計	2,523



居住地別分析

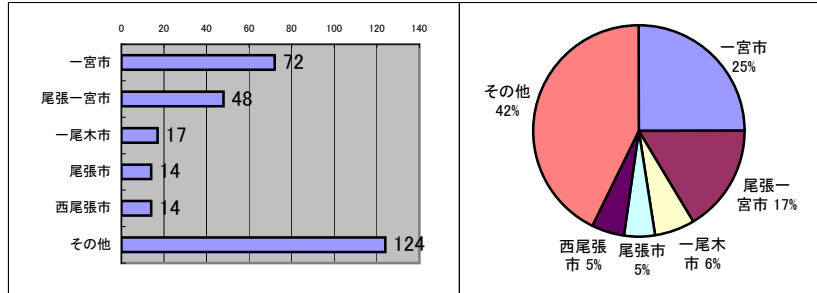
一宮市

新市名称	件数
一宮市	1,152
尾張一宮市	191
尾張市	107
一尾木市	71
西尾張市	32
その他	430
計	1,983



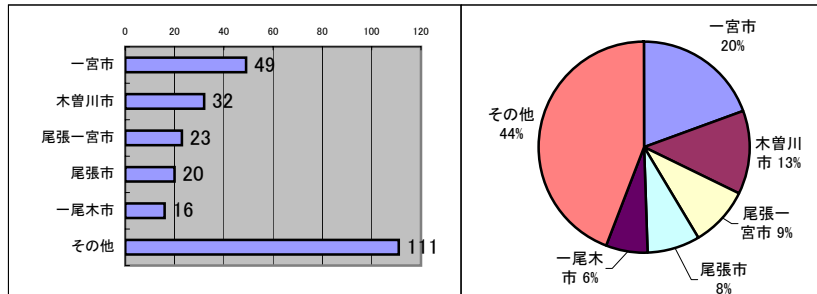
尾西市

新市名称	件数
一宮市	72
尾張一宮市	48
一尾木市	17
尾張市	14
西尾張市	14
その他	124
計	289



木曾川町

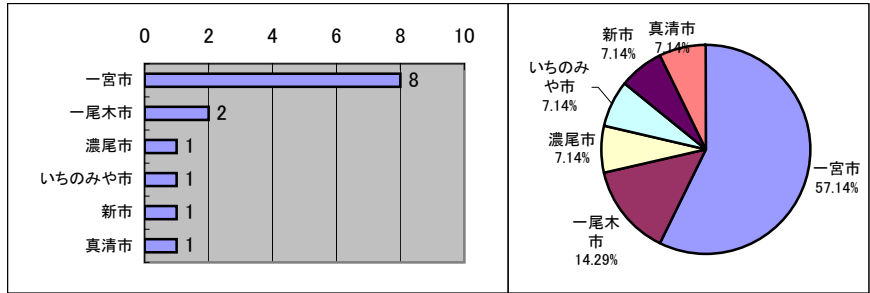
新市名称	件数
一宮市	49
木曾川市	32
尾張一宮市	23
尾張市	20
一尾木市	16
その他	111
計	251



年代別分析

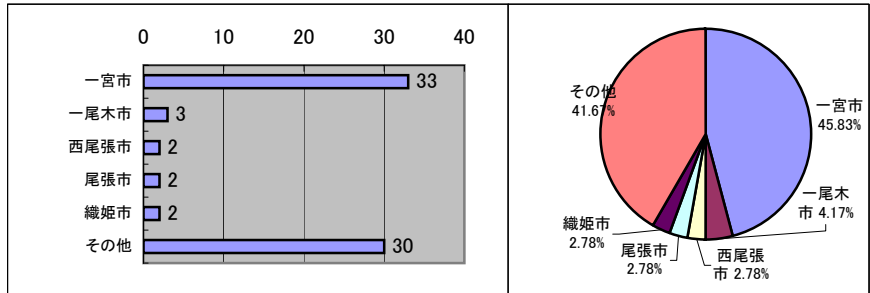
10歳未満

新市名称	件数
一宮市	8
一尾木市	2
濃尾市	1
いちのみや市	1
新市	1
真清市	1
計	14



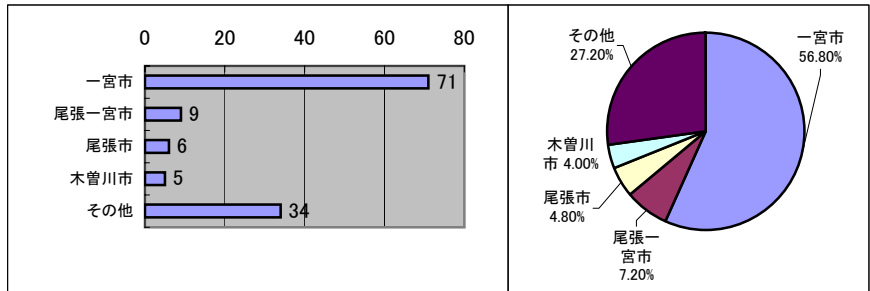
10歳代

新市名称	件数
一宮市	33
一尾木市	3
西尾張市	2
尾張市	2
織姫市	2
その他	30
計	72



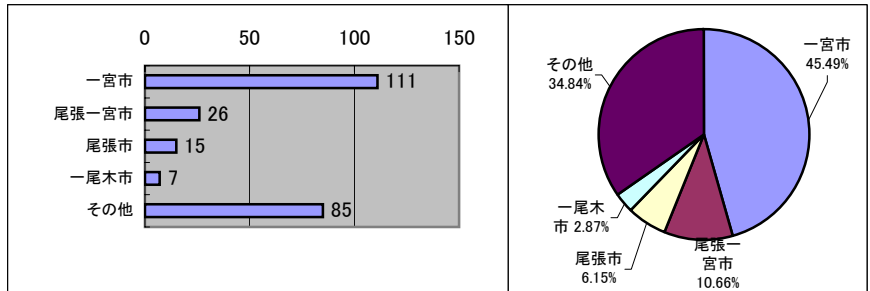
20歳代

新市名称	件数
一宮市	71
尾張一宮市	9
尾張市	6
木曾川市	5
その他	34
計	125



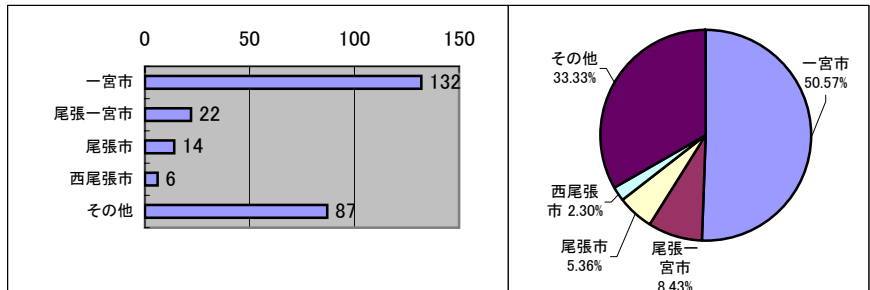
30歳代

新市名称	件数
一宮市	111
尾張一宮市	26
尾張市	15
一尾木市	7
その他	85
計	244



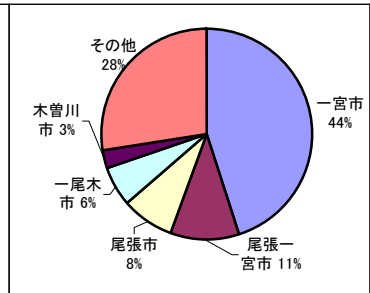
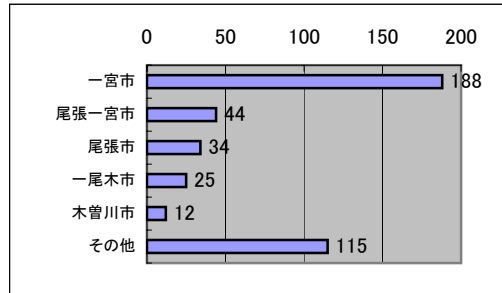
40歳代

新市名称	件数
一宮市	132
尾張一宮市	22
尾張市	14
西尾張市	6
その他	87
計	261



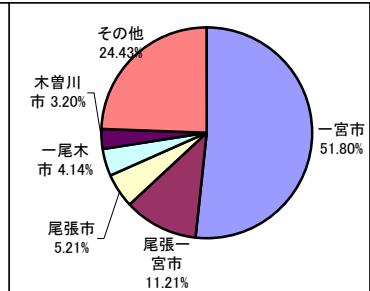
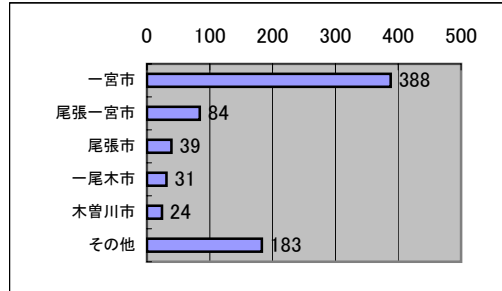
50歳代

新市名称	件数
一宮市	188
尾張一宮市	44
尾張市	34
一尾木市	25
木曾川市	12
その他	115
計	418



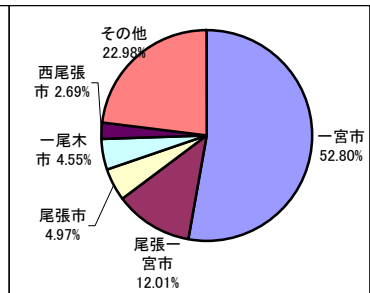
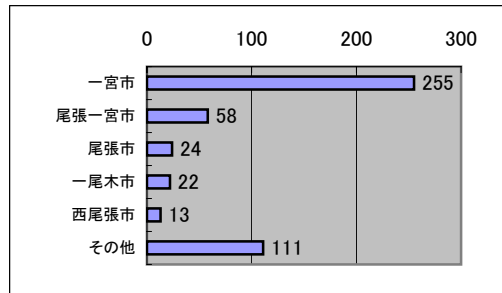
60歳代

新市名称	件数
一宮市	388
尾張一宮市	84
尾張市	39
一尾木市	31
木曾川市	24
その他	183
計	749



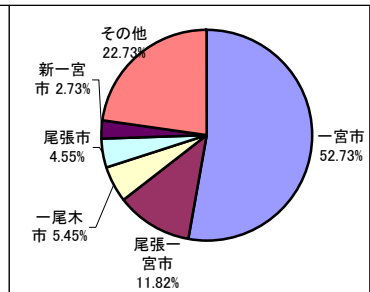
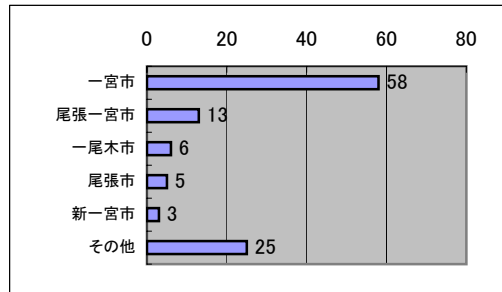
70歳代

新市名称	件数
一宮市	255
尾張一宮市	58
尾張市	24
一尾木市	22
西尾張市	13
その他	111
計	483



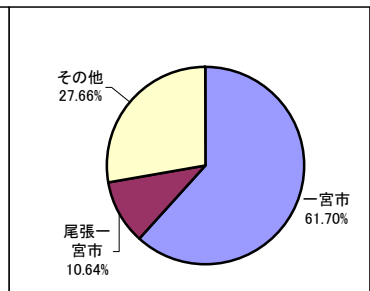
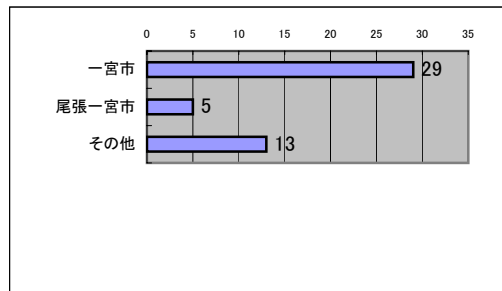
80歳以上

新市名称	件数
一宮市	58
尾張一宮市	13
一尾木市	6
尾張市	5
新一宮市	3
その他	25
計	110



不明

新市名称	件数
一宮市	29
尾張一宮市	5
その他	13
計	47



平成15年12月25日

新市建設計画策定に向け

一宮市・尾西市・木曾川町

一宮市・尾西市・木曾川町合併協議会

も く じ

新市建設計画の基本的な枠組み・・・・・・・・・・ 2

1 新市を取り巻く環境・・・・・・・・・・ 3

2 2市1町のまちづくりの動向・・・・・・・・・・ 20

3 新市建設の基本方針・・・・・・・・・・ 22

4 新市の施策・・・・・・・・・・ 25

5 公共施設の適正配置と整備・・・・・・・・・・ 35

6 財政推計・・・・・・・・・・ 36

新市建設計画の基本的な枠組み

① 計画の位置付け

新市建設計画は、一宮市、尾西市及び木曾川町の合併後のまちづくりの方向性（マスタープラン）を定めるとともに、その実現を図ることにより旧2市1町の速やかな一体性の確立及び地域の個性を活かした均衡ある発展と住民福祉の向上を図ろうとするものです。

なお、新市の進むべき方向についてのより具体的な内容は、新市で策定する総合計画（基本構想、基本計画）などに委ねられます。

② 計画の構成

この計画は新市のまちづくりのための「基本方針」、また、これを実現するための新市の根幹となる事業を取りまとめた「施策・主要事業」、「公共施設の統合整備」及び「財政計画」を中心に構成します。

③ 計画の期間

この計画の計画期間は、合併年度及びこれに続く10年間とします。

1 新市を取り巻く環境

(1) 人口・世帯

①地域の現状・将来見通し

【人口】2市1町の人口は約36万人（平成12年国勢調査）で、平成7年と比べて2.5%の増加となっている。また、中核市の人口要件を満たしている。

【年少人口】少子化が進む中、15歳未満の人口は、平成2年の6.3万人から平成12年には5.7万人に減少している。現在の傾向が続くと、平成32年には4.5万人まで減少するものと見込まれる。

【高齢者人口】65歳以上の高齢者は増加傾向にあり、人口に占める割合は、平成12年の14.7%から平成32年には26.9%に上昇し、超高齢社会の到来が見込まれる。特に、75歳以上の後期高齢者人口は、今後、加速度的な増加が見込まれる。

※高齢者人口の割合… 7%～：高齢化社会 → 14%～：高齢社会 → 21%～：超高齢社会

【世帯の状況】世帯数は約12万世帯で、1世帯あたりの人員は3.07人と、名古屋市を除く愛知県平均（2.95人）と比べて高い。また、高齢単身世帯の割合は4.2%で、愛知県平均（4.8%）と比べると、若干低い水準にある。

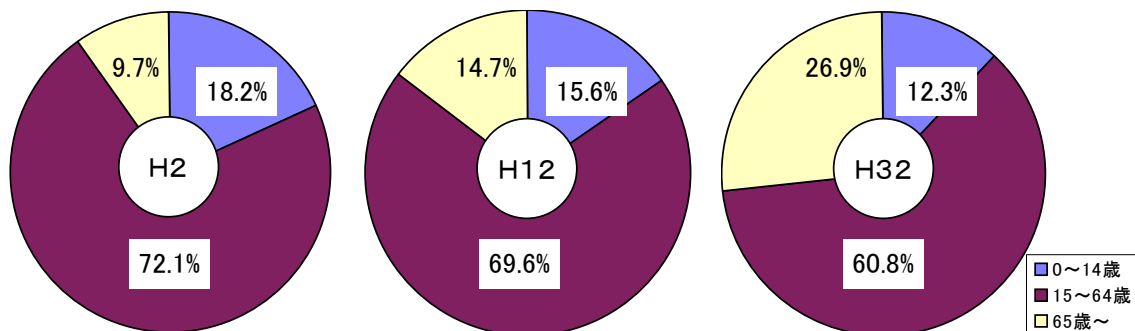
【図表】人口・世帯の状況

市町村	総数 (人)	対H7 伸率 (%)	男 (人)	女 (人)	世帯数 (世帯)	平成12年10月1日現在	
						高齢単身 世帯数 (世帯)	高齢単身 世帯割合 (%)
一宮市	273,711	2.4	134,012	139,699	89,984	3,887	4.3
尾西市	57,956	1.5	28,241	29,715	18,122	744	4.1
木曾川町	31,059	5.2	15,220	15,839	9,975	363	3.6
2市1町合計	362,726	2.5	177,473	185,253	118,081	4,994	4.2

資料：総務省「平成12年国勢調査」

注) 世帯数は総数（一般世帯と施設等の世帯の合計）。

【図表】2市1町の人口構成比の推移



注) 年齢不明は除く。

平成2、12年は実績値。平成32年は、コーホート要因法による推計値。

【図表】年齢区分別人口・構成比の推移

2市1町合計		H2	H7	H12	H17	H22	H27	H32
人口	0～14歳	62,890	57,320	56,730	56,466	54,353	49,567	44,814
	15～64歳	250,149	254,769	252,633	245,397	235,852	225,759	220,856
	65歳以上	33,597	41,890	53,174	67,056	80,844	93,645	97,645
	うち75歳以上	13,044	15,977	19,774	25,849	33,688	42,745	51,362
合計		346,972	353,999	362,726	368,919	371,049	368,971	363,315
構成比	0～14歳	18.2%	16.2%	15.6%	15.3%	14.6%	13.4%	12.3%
	15～64歳	72.1%	72.0%	69.6%	66.5%	63.6%	61.2%	60.8%
	65歳以上	9.7%	11.8%	14.7%	18.2%	21.8%	25.4%	26.9%
	うち75歳以上	3.8%	4.5%	5.5%	7.0%	9.1%	11.6%	14.1%

資料：総務省「国勢調査」等

【参考】全国・愛知県人口の将来推計

全国						愛知県					
	H12	H17	H22	H27	H32		H12	H17	H22	H27	H32
0～14歳	18,505	17,727	17,074	16,197	15,095	0～14歳	1,086	1,067	1,032	962	887
15～64歳	86,380	84,590	81,665	77,296	74,453	15～64歳	4,934	4,856	4,703	4,506	4,415
65歳以上	22,041	25,392	28,735	32,772	34,559	65歳以上	1,024	1,236	1,470	1,720	1,812
うち75歳以上	9,012	11,422	13,792	15,735	17,666	うち75歳以上	395	510	643	776	921
合計	126,926	127,708	127,473	126,266	124,107	合計	7,043	7,159	7,205	7,188	7,114
0～14歳	14.6%	13.9%	13.4%	12.8%	12.2%	0～14歳	15.4%	14.9%	14.3%	13.4%	12.5%
15～64歳	68.1%	66.2%	64.1%	61.2%	60.0%	15～64歳	70.1%	67.8%	65.3%	62.7%	62.1%
65歳以上	17.4%	19.9%	22.5%	26.0%	27.8%	65歳以上	14.5%	17.3%	20.4%	23.9%	25.5%
うち75歳以上	7.1%	8.9%	10.8%	12.5%	14.2%	うち75歳以上	5.6%	7.1%	8.9%	10.8%	12.9%

単位：千人

資料：国立社会保障・人口問題研究所「都道府県の将来推計人口(平成14年3月推計)」

注) 年齢不明は除く。平成2～12年は実績値。平成17～32年は、コーホート要因法による推計値。

人口推計の方法（コーホート要因法）

- ・コーホート要因法とは、同年又は同時期に出生した人口集団（コーホート）を単位として、将来変化を推計する方法である。
- ・例えば、ある地域の20～24歳の人口集団は、5年後には25～29歳の集団となるが、5年間の変化（増減）は、「死亡数」と「移動数」によって生じる。
- ・この死亡数と移動数をコーホートごとに仮定し、将来的な人口の推移を推計している。

【推計の前提条件】

- 出生率、生残率、出生性比…国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成14年1月)」における仮定値を使用。出生率は中位推計を適用。
- 純移動率…愛知県人口動向調査、国勢調査から性別・年齢別の移動人口、純移動率を推計。

○地域特性のまとめ

- 2市1町においても、全国、県と同様に少子高齢化の進展が見込まれる。
- 世帯あたりの人員、高齢単身世帯（独居老人）の比率から、3世代同居の割合が高いと推定される。

②課題と対応方向

- 子育て支援などの少子化対策の推進
- 地域特性に応じた、超高齢社会に対応した行政サービスの提供

(2) 生活圏

①地域の現状・将来見通し

【通勤・通学】尾西市、木曾川町では通勤・通学者の過半数が市町外に流出しているが、通勤・通学先としては一宮市の割合が高く、一宮市を中心とした通勤・通学面での結びつきが伺われる（2市1町内就業率：60.0%）。その他の地域としては、名古屋市、他県への流出割合が高い。

平成2年と比較すると、各市町の自市町内就業率、一宮市を通勤・通学先とする割合は低下しており、一宮市の中心性は弱まる傾向にある。

【商圈・買物】一宮市の地元購買率は、尾張地域の他都市と比較しても高いが、尾張西部では、近年、稲沢市の吸引力が強まっている。以前は、2市1町に祖父江町を含む形で一宮商圈を形成していたが、現在は2市1町のみへと縮小傾向にある。現在、尾西市は稲沢市の商圈にも属している。また、木曾川町では地元大型店の立地により自町内の購買率が高まっており、商圈としての一体性は維持しつつも、一宮市の吸引力は低下傾向にある。

【図表】通勤・通学の状況

①平成2年

	常住就業者・通学者（人）							
	総数	自市町村	他市町村	名古屋市	一宮市	尾西市	木曾川町	他 県
一宮市	159,717	94,940	64,777	26,354		4,531	1,869	7,476
		59.4%	40.6%	16.5%		2.8%	1.2%	4.7%
尾西市	35,313	19,086	16,227	4,223	5,783		358	1,524
		54.0%	46.0%	12.0%	16.4%		1.0%	4.3%
木曾川町	17,630	7,336	10,294	2,758	3,198	678		1,652
		41.6%	58.4%	15.6%	18.1%	3.8%		9.4%
2市1町	212,660	137,779	74,881	33,335				10,652
		64.8%	35.2%	15.7%				5.0%

②平成12年

	常住就業者・通学者（人）							
	総数	自市町村	他市町村	名古屋市	一宮市	尾西市	木曾川町	他 県
一宮市	156,970	86,292	70,678	25,835		4,342	1,986	9,004
		55.0%	45.0%	16.5%		2.8%	1.3%	5.7%
尾西市	33,981	15,607	18,374	4,287	6,102		429	2,108
		45.9%	54.1%	12.6%	18.0%		1.3%	6.2%
木曾川町	17,886	6,268	11,618	2,973	3,492	701		2,026
		35.0%	65.0%	16.6%	19.5%	3.9%		11.3%
2市1町	208,837	125,219	83,618	33,095				13,138
		60.0%	40.0%	15.8%				6.3%

資料：総務省「国勢調査」

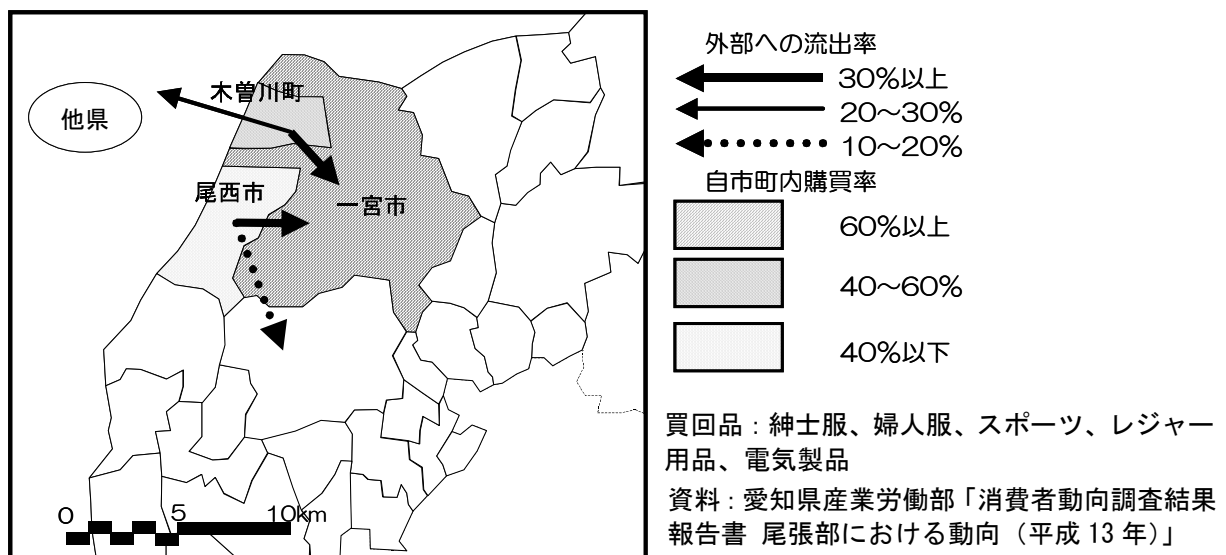
注）表中％は、常住就業者・通学者総数に対する通勤・通学先の割合を示す。

【図表】一宮市の吸引力の推移

	買回品		準買回品		最寄品		贈答品	
	尾西市	木曾川町	尾西市	木曾川町	尾西市	木曾川町	尾西市	木曾川町
平成3年	24.5	42.7	16.0	31.7	8.3	16.6	34.6	39.9
平成6年	23.4	47.0	15.8	34.5	11.7	23.6	33.8	46.8
平成9年	26.4	48.3	18.6	37.5	11.7	25.2	43.1	53.4
平成12年	26.3	34.6	13.4	23.8	14.8	11.9	35.3	38.3
伸び率 (H12/H3)	107.3%	81.0%	83.8%	75.1%	178.3%	71.7%	102.0%	96.0%

資料)消費者購買動向調査報告書(平成13年)

【図表】買物(買回り品)の状況



○地域特性のまとめ

○2市1町の地域的な結びつきは、他地域と比較して強い。しかし、尾張西部の拠点都市としての一宮市の求心力は低下傾向にある。

②課題と対応方向

- 住民生活の広域化、地域の結びつきに即した行政サービスの提供
- 地域の一体性を支える道路・交通ネットワークの充実
- 地域活力の維持向上に向けた、一宮市の拠点性向上

(3) 地勢・自然特性

①地域の現状・将来見通し

【位置・地勢】愛知県の北西部に位置し、地勢的にはきわめて平坦な地形を持つ。2市1町の北西は、延長約18kmにわたって木曽川に囲まれている。

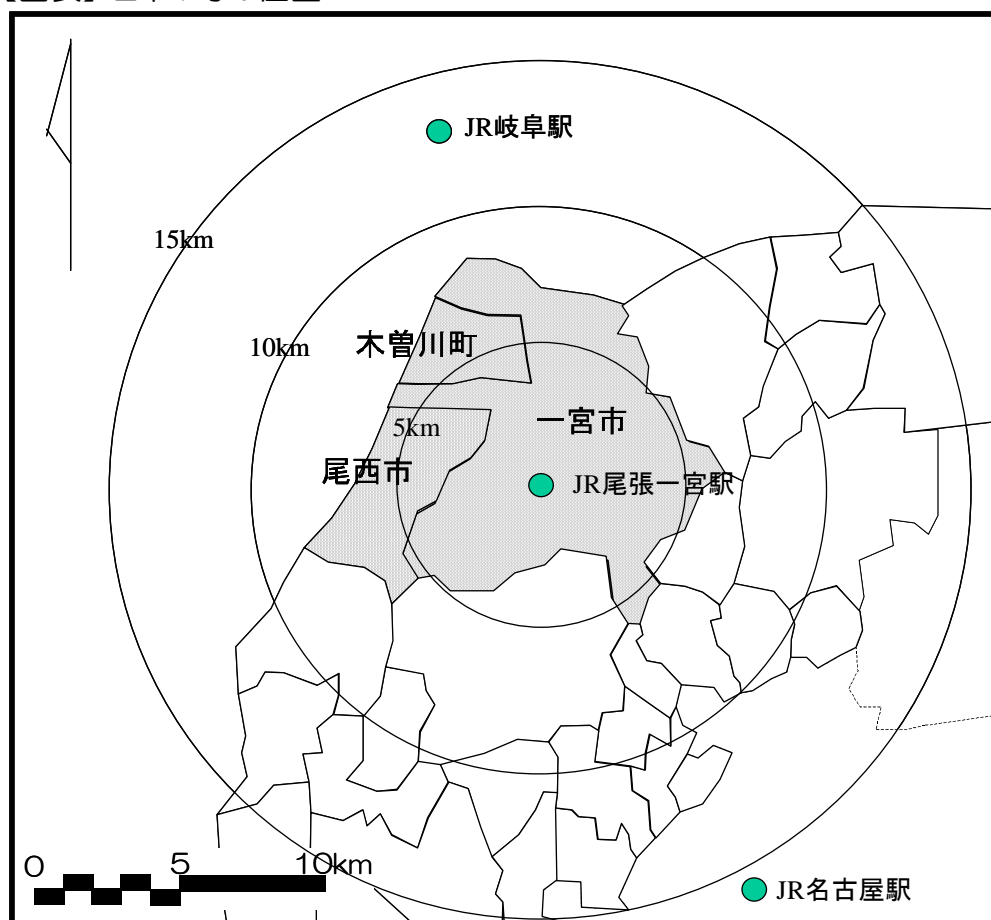
濃尾平野のほぼ中央、名古屋市と岐阜市の中に位置し、恵まれた自然環境と良好な立地条件を有する地域である。

【面積】2市1町の面積は11,391haで、県内では、新城市、瀬戸市とほぼ同じ大きさであり、中核市の面積要件（人口50万人未満の場合）を満たしている。

【土地利用】面積の3割を農用地が占めている。地域には、国営木曽三川公園三派川地区（138タワーパーク）など自然環境を活かした交流・レクリエーション空間が整備されている。

【自然災害】東海地震の地震防災対策強化地域には指定されていないが、東南海・南海地震や内陸部の直下型地震など様々な可能性が想定される中、地震に対する十分な防災対策が求められる。また、過去の風水害状況から治水面での対策も重要である。

【図表】2市1町の位置



【図表】2市1町合計面積の県内ランク

平成12年10月1日現在

面積県内ランキング (ha)	
1	名古屋市 32,645
2	豊田市 29,011
3	鳳来町 26,366
4	豊橋市 26,126
5	岡崎市 22,697
6	設楽町 22,083
7	足助町 19,327
8	額田町 16,027
9	東栄町 12,340
10	豊根村 12,113
11	新城市 11,794
12	作手村 11,740
13	下山村 11,418
14	2市1町 11,391
15	瀬戸市 11,162
16	稲武町 9,863
17	春日井市 9,271
18	安城市 8,601

資料：県土地水資源課「土地に関する統計年報」

【図表】地目別土地利用面積

単位: ha

平成13年	行政面積	農用地	森林原野	河川水路	道路	宅地	その他			その他
							(住宅地)	(工業用地)	(その他宅地)	
一宮市	8,239	2,570	-	634	1,455	3,179	2,250	163	766	401
	(100.0%)	(31.2%)	-	(7.7%)	(17.7%)	(38.6%)	(27.3%)	(2.0%)	(9.3%)	(4.9%)
尾西市	2,201	654	-	372	324	812	533	70	209	39
	(100.0%)	(29.7%)	-	(16.9%)	(14.7%)	(36.9%)	(24.2%)	(3.2%)	(9.5%)	(1.8%)
木曽川町	951	222	-	185	158	362	243	23	96	24
	(100.0%)	(23.3%)	-	(19.5%)	(16.6%)	(38.1%)	(25.6%)	(2.4%)	(10.1%)	(2.5%)
2市1町計	11,391	3,446	-	1,191	1,937	4,353	3,026	256	1,071	464
	(100.0%)	(30.3%)	-	(10.5%)	(17.0%)	(38.2%)	(26.6%)	(2.2%)	(9.4%)	(4.1%)
愛知県	515,478	85,332	220,881	24,127	44,298	87,819	51,406	13,174	23,239	53,021
	(100.0%)	(16.6%)	(42.8%)	(4.7%)	(8.6%)	(17.0%)	(10.0%)	(2.6%)	(4.5%)	(10.3%)

資料：愛知県企画振興部土地水資源課「土地に関する統計年報」

○地域特性のまとめ

○大都市近郊にありながら、木曽川に代表される豊かな自然資源と田園的な生活環境を兼ね備えている。

②課題と対応方向

- 水環境、緑を生かした豊かな住環境と潤い空間の整備
- 交流・レクリエーション空間としての木曽川の活用
- 広域的な治水・防災活動体制の確立

(4) 産業経済

①地域の現状・将来見通し

【産業構造】毛織物産地として繊維産業を中心に商工業が発展。近年は第2次産業の比率が低下し、第3次産業の占める割合が高まっている。

【工業】事業所数、従業者数で繊維が占める割合は高いが、近年は一般機械、電気機械の割合が増加。2市1町合計の製造品出荷額等は、県内15位に相当する。

【商業】繊維工業を中心とする卸売業と、門前町として発展してきた中心市街地の小売業を中核に、尾張西部最大の商業地として発展してきた。現在も、年間販売額(卸・小売業計)は2市1町合計で県内5位に相当するが、国道22号沿線を始めとする郊外店舗の立地、稲沢市の商圈拡大等によって、一宮市の商業拠点性は低下傾向にある。

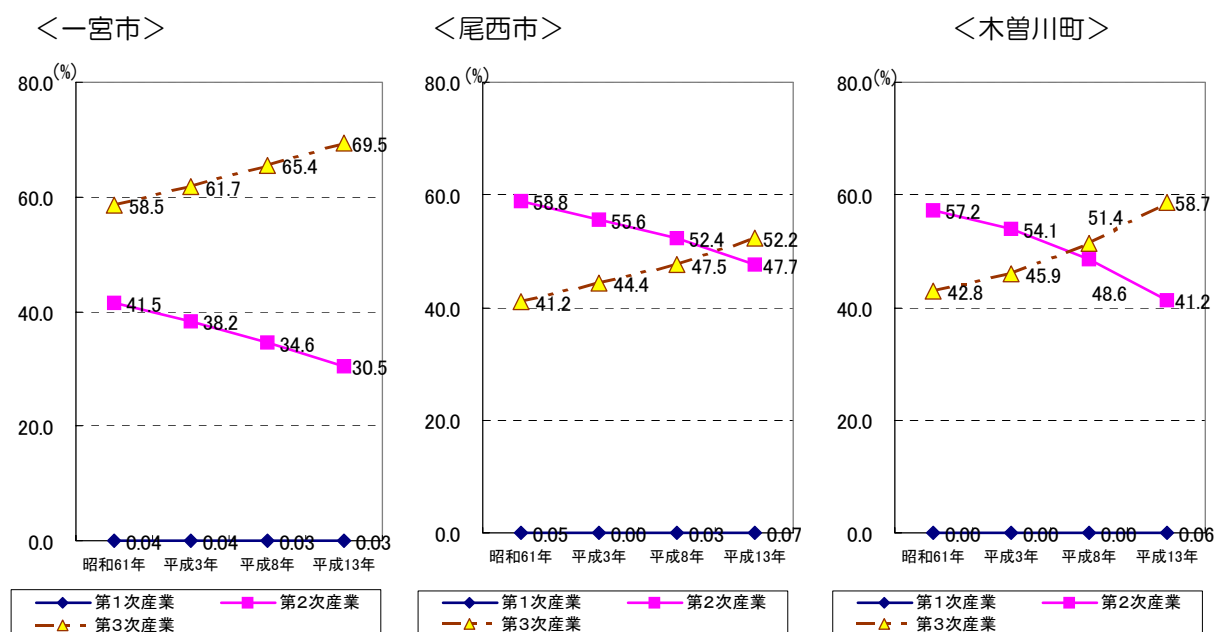
【図表】産業大分類別就業者数

平成12年10月1日現在

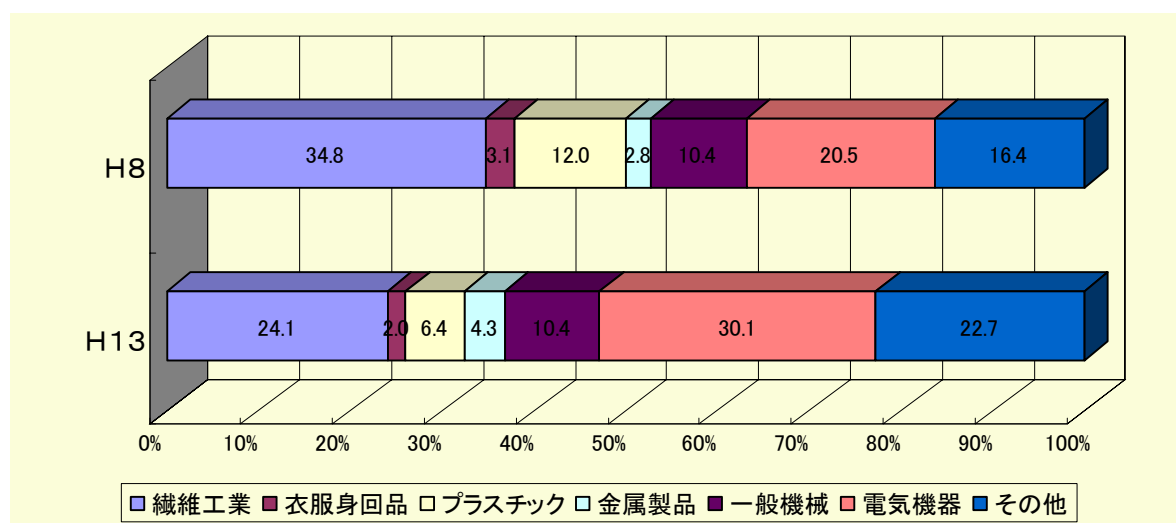
	昭和55年(1980)				平成12年(2000)			
	総数	第1次産業	第2次産業	第3次産業	総数	第1次産業	第2次産業	第3次産業
就業者数								
一宮市	121,508	5,187	55,938	60,329	141,831	2,354	52,635	84,665
尾西市	27,588	1,216	15,766	10,599	30,831	605	13,764	16,337
木曾川町	13,784	269	7,934	5,573	16,289	121	6,902	9,188
2市1町合計	162,880	6,672	79,638	76,501	188,951	3,080	73,301	110,190
愛知県	3,048,896	166,269	1,292,074	1,588,973	3,687,238	109,181	1,360,214	2,192,586
全国計	55,811,309	6,110,987	18,737,426	30,901,357	62,977,960	3,172,509	18,571,057	40,484,679
構成比								
一宮市	100.0%	4.3%	46.0%	49.7%	100.0%	1.7%	37.1%	59.7%
尾西市	100.0%	4.4%	57.1%	38.4%	100.0%	2.0%	44.6%	53.0%
木曾川町	100.0%	2.0%	57.6%	40.4%	100.0%	0.7%	42.4%	56.4%
2市1町合計	100.0%	4.1%	48.9%	47.0%	100.0%	1.6%	38.8%	58.3%
愛知県	100.0%	5.5%	42.4%	52.1%	100.0%	3.0%	36.9%	59.5%
全国	100.0%	10.9%	33.6%	55.4%	100.0%	5.0%	29.5%	64.3%

資料：総務省「平成12年国勢調査」

【図表】産業別事業所数割合の推移



【図表】2市1町合計の製造品出荷額等の推移（構成比・金額）



単位：百万円

製造品出荷額等	総額	繊維工業	衣服身回品	プラスチック	金属製品	一般機械	電気機器	その他
平成8年	749,094	260,669	23,453	90,244	20,797	77,682	153,713	122,536
平成13年	660,618	159,180	12,976	41,975	28,662	68,951	199,100	149,773

資料：愛知県企画振興部統計課「あいちの工業」

【図表】商業の状況

平成14年6月1日現在

		卸売業・小売業合計		
		事業所数	従業者数 (人)	年間商品販売額 (万円)
1	名古屋市	38,731	348,381	2,904,708,922
2	豊田市	2,799	25,256	149,030,179
3	豊橋市	4,942	35,812	114,755,146
4	岡崎市	4,171	30,429	106,498,010
2市1町		4,214	28,111	91,810,173
5	一宮市	3,354	22,845	79,025,707
	：	：	：	：
31	尾西市	523	3,088	9,051,060
	：	：	：	：
52	木曾川町	337	2,178	3,733,406

資料：愛知県企画振興部統計課「平成14年商業統計調査結果速報」

○地域特性のまとめ

- 繊維産業と電気・機械のシェアの逆転。
- サービス産業化が急速に進展。

②課題と対応方向

- 繊維産業を中心とする地場産業の活性化
- 既存産業の高度化と新規産業の育成・立地誘導
- 商店街など地域商業の活性化
- 市民生活の向上と経済活性化に資する都市型サービス業・都市型産業の振興

(5) 都市基盤

①地域の現状・将来見通し

【交通基盤】鉄道（JR・名鉄）、高速自動車道（名神高速道路、東海北陸自動車道）のインターが立地し、広域交通の結節点にある。

【都市計画区域】全域が都市計画区域に含まれている。市街化区域は約3割であるが、市街化調整区域にも集落・DIDが広く分布し、多数の住民が居住している。

【人口集中地区（DID）】昭和35年時点では2市1町に散在していたが、現在は2市1町に連担して広がっており、行政面積の4割強がDIDとなっている。平成7年からの伸びは1.1%と、県水準（2.4%）と比べ緩やかである。

※人口集中地区（DID）：人口密度の高い（人口密度1km²あたり4,000人以上）国勢調査区が隣接している人口5,000人以上の地区。

【生活基盤】下水道の普及状況は一宮市36.4%、尾西市及び木曾川町0%、地域全体では24.9%となっている。一宮市域のみにおいて、1,111haの土地区画整備事業が認可されており、そのうち982haが整備済みである。

【図表】交通基盤の状況



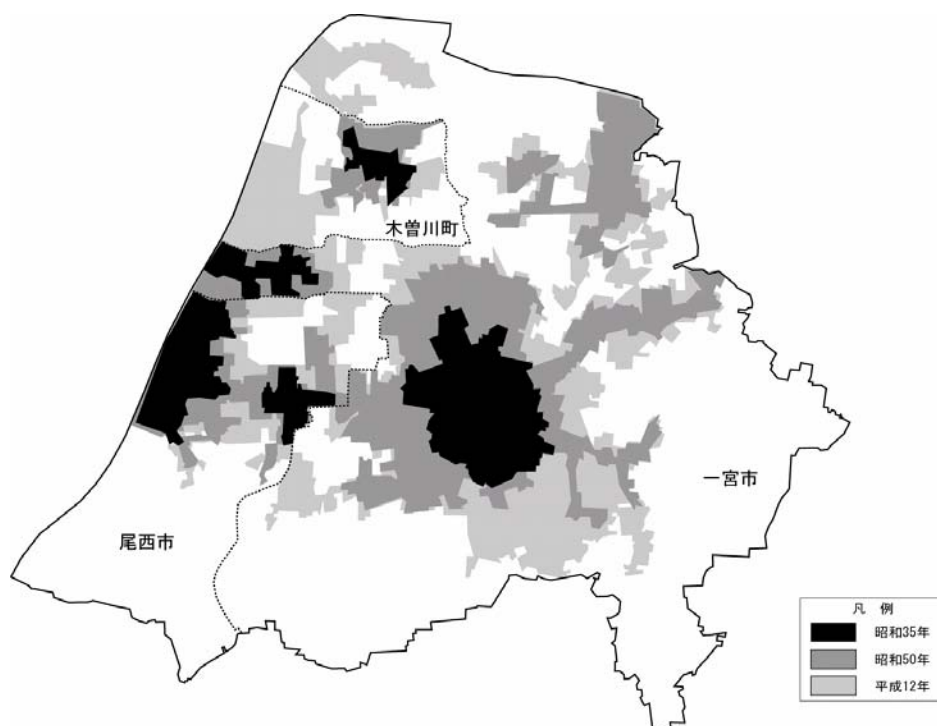
【図表】都市計画区域の状況

	行政面積 (ha)	人口密度 (人/km ²)	人口集中地区		都市計 画区域 (ha)	面積 (ha)		人口密度(人/km ²)		人口密度伸率 (%)	
			面積 (ha)	人口 (人)		市街化 区域	調整区域	市街化 区域	調整区域	市街化区域 (H14/H9)	調整区域 (H14/H9)
一宮市	8,239	3,322	3,523	190,459	8,239	2,585	5,654	5,725	2,349	5.3	0.2
尾西市	2,201	2,633	829	37,790	2,201	723	1,478	6,017	1,719	22.5	13.9
木曾川町	951	3,266	500	22,248	951	494	457	5,651	853	-7.9	29.9
2市1町合計	11,391	3,184	4,852	250,497	11,391	3,802	7,589	5,771	2,136	6.4	2.7
豊橋市	26,126	1,397	4,662	256,696	26,126	6,174	19,952	4,713	408	6.6	8.8
岡崎市	22,697	1,483	4,705	246,992	22,697	5,741	16,956	5,208	264	-1.4	10.4
春日井市	9,271	3,102	4,553	250,156	9,271	4,569	4,702	5,419	991	5.6	-7.0
豊田市	29,011	1,210	4,010	231,334	29,011	4,918	24,093	5,124	422	4.9	-1.1

時点：都市計画区域・平成14年3月31日、その他は平成12年10月1日現在。

資料：愛知県企画振興部土地水資源課「土地に関する統計年報」、都市計画協会「都市計画年報」

【図表】 DIDの変遷



資料：総務省「国勢調査（昭和35年、昭和50年、平成12年）」

【図表】 生活基盤の状況

	下水道		都市公園			土地区画整理事業					
	処理区域 人口(千人)	普及率 (%)	箇所	面積 (ha)	1人当たり 面積(m ²)	認可済		施行中		換地処分済	
						件数	面積 (ha)	件数	面積 (ha)	件数	面積 (ha)
一宮市	91.39	32.9	100	132.28	4.71	13	1,111	3	129	10	982
尾西市	-	-	6	12.55	2.13	-	-	-	-	-	-
木曾川町	-	-	1	6.99	2.19	-	-	-	-	-	-
2市1町合計	91.39	24.9	107	151.82	4.09	13	1,111	3	129	10	982
豊橋市	259.59	72.8	333	345.04	9.46	26	1,727	3	67	23	1,661
岡崎市	166.60	49.6	196	348.20	10.35	37	1,666	6	176	31	1,491
春日井市	173.27	60.1	226	305.15	10.61	47	3,272	9	298	38	2,974
豊田市	157.56	46.0	136	380.40	10.83	27	1,075	7	290	20	785

資料：愛知県「愛知県都市公園現況」「土地に関する統計年報（平成14年）」下水道課資料

●時点：下水道は平成14年3月31日、都市公園は平成13年3月31日、土地区画整理事業は平成13年。

○地域特性のまとめ

- 良好な交通条件を有し、広域交通基盤の結節点。
- 生活基盤など都市基盤の整備水準は低い。

②課題と対応方向

- 交通結節性を生かしたまちづくり
- 地域内交流を活発にする道路・交通体系の整備
- 生活基盤の充実・強化

(6) 歴史・文化

①地域の現状

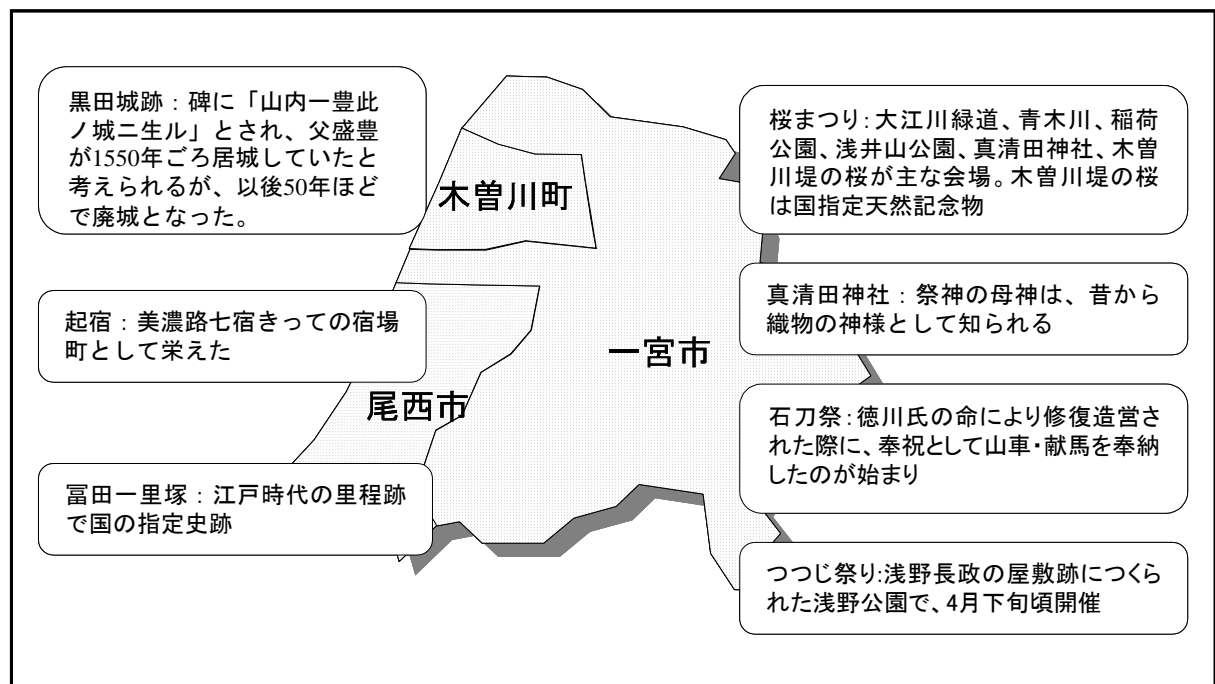
【歴史・沿革】

- 一宮市：尾張の国「一の宮」が真清田神社であったことから、その門前町が一宮と呼ばれる。大正10年市制施行により一宮市となり、昭和15年に葉栗村及び西成村と合併、昭和30年に近隣8町村が合併。
- 尾西市：昭和30年1月に起町と朝日村が合併し市制を施行、4月に今伊勢町の一部と合併。市名は古くからこの地方一帯を示す言葉である尾西（尾張西部）に由来。
- 木曾川町：明治39年に黒田町ほか2村が合併、明治43年に町名を木曾川町と定め、現在に至る。

【歴史・文化資源】2市1町には歴史、文化資源が豊富に存在。

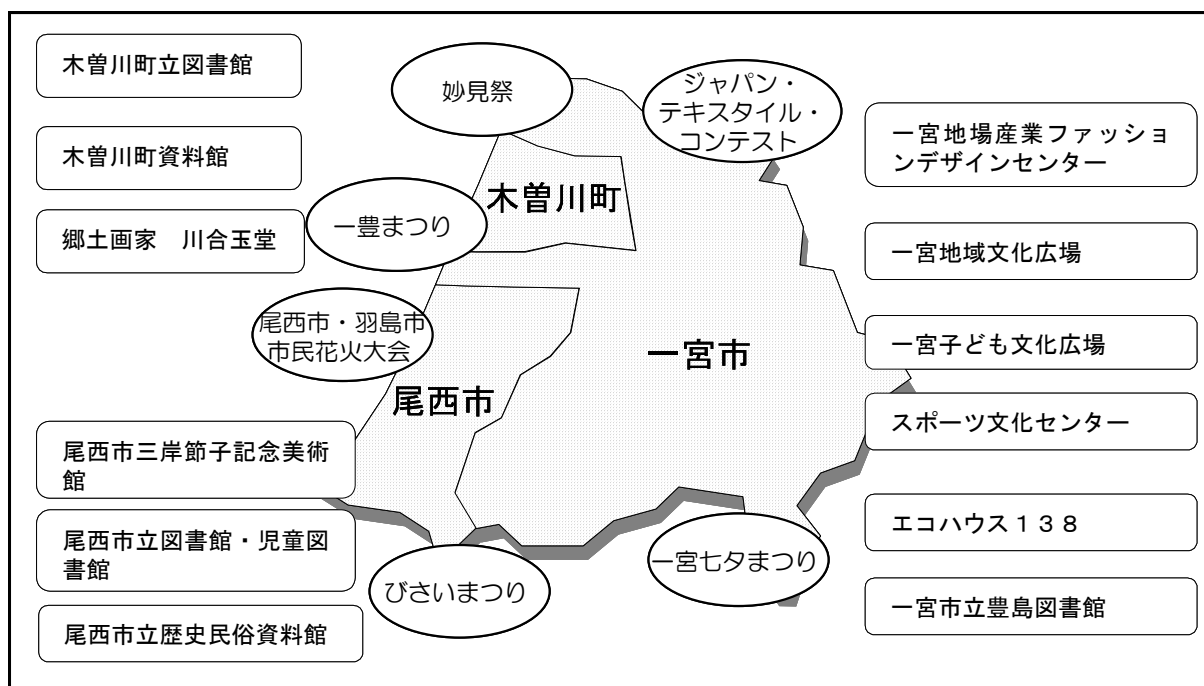
【文化施設】「一宮市民会館」「尾西市民会館」が立地している。また、図書館は合わせて4箇所、蔵書数は計69万冊である。博物館としては、「一宮市博物館」「尾西市歴史民俗資料館」が立地し、郷土の歴史、文化遺産を収集・展示している。

【図表】地域資源の状況（歴史・伝統）



資料：各市町ホームページ

【図表】地域資源の状況（文化・イベント）



資料：各市町ホームページ

【図表】文化施設の状況

平成14年3月31日現在

	公会堂・市民会館			図書館		
	箇所数	延面積 (㎡)	収容定数 (人)	箇所数	延面積 (㎡)	蔵書数 (冊)
一宮市	1	8,328	1,588	1	3,020	414,136
尾西市	1	3,870	1,050	2	2,111	215,149
木曽川町	-	-	-	1	2,379	57,325
2市1町	2	12,198	2,638	4	7,510	686,610
豊橋市	4	15,823	2,190	2	6,395	839,334
岡崎市	6	18,285	4,006.0	1	2,580.0	462,960
春日井市	2	6,370	1,653.0	1	10,966.0	646,059
豊田市	5	30,399	3,349.0	1	12,567.0	1,079,813

資料：愛知県総務部市町村課「市町村行財政のあらまし（平成15年1月）」等

○地域特性のまとめ

○地域の歴史、文化の蓄積が豊富。

②課題と対応方向

- 歴史的・文化的資源の保全・継承と活用
- 多様な文化ニーズに対応した活動の場の提供

(7) 地域コミュニティ・市民参加

①地域の現状・将来見通し

【ボランティア活動】平成15年に認証された4団体を含めて、現在、2市1町では7団体がNPO（特定非営利活動）法人として活動している。主な活動分野は保健・医療・福祉分野とする団体が多くみられる。

【市民参加】地域住民による身近なまちづくりの必要性が高まる中、道路・公園などの公共施設管理への住民参加や、住民が主体となつてのまちづくり活動、さらには事業計画策定にあたってのワークショップなど、様々な形で市民と行政の協働が取り組まれている。

【図表】NPO法人の状況

名称	主たる事務所の所在地	認証年月日	定款に記載された目的	主な活動分野
尾張地域福祉を考える会まごころ	一宮市貴船	H11.7.7	助け合いの心を大切にする市民とともに、高齢者や障害者、子どもたちが安心して暮らすために、福祉サービスに関する事業を行い、もって、福祉の増進と地域社会の発展に寄与し、社会全体の利益に貢献することを目的とする。	保健・医療・福祉
お達者クラブ	一宮市北神明町	H12.11.17	地域の人々が、年をとっても、病気になっても、障害をもっても、痴呆になっても住み慣れたところで多くの人々と関わりながらいつまでも安心して過ごしていくための福祉サービスの提供と、地域社会の中で、様々な価値観を尊重できるこれからの福祉社会を住民の人々と考え作り出し、よりよい市民社会に貢献することを目的とする。	保健・医療・福祉
ふれあいサロンさん・さんガーデン	一宮市北方町	H15.3.19	家族のような気持ちで、家族丸ごとの助け合いをスローガンに、少子・高齢社会の中ですべての年齢層の市民を対象に、助け合いの精神に基づいたふれあい社会づくりの目標をもとに、ともに協力・参加し合つて福祉サービスを提供することによって、誰もが安心して暮らせる地域福祉社会を実現することをもって、社会全体の利益に寄与することを目的とする。	保健・医療・福祉
Expo Web TV	一宮市栄	H15.3.7	2005年日本国際博覧会（以下、愛・地球博）への参加を希望する幅広い市民に対して、愛・地球博の市民参加事業に関する情報を提供し支援すると共に、市民が自由に参加できるインターネット放送事業を行うことで、愛・地球博を支援し成功に寄与することを目的とする。	まちづくり
シニア・リンク	一宮市中町	H15.5.2	定年退職者および中高年における中途退職者等が、その蓄積した業務知識・ノウハウなどを活かして、充実した高齢期を迎えることができるように支援することを目的とする。	社会教育
VIF	尾西市東五城	H15.4.10	スポーツに関する青少年指導者の養成・研修と同時に青少年育成のあり方についての調査研究などを通じて、青少年の育成基盤の整備を図ると共に、健全育成に寄与し、併せて高齢者・障害者の介護支援活動を行うことを目的とする。	子どもの健全育成
さわやかファミリーサポートセンター	木曾川町黒田	H14.5.31	家族のような気持ちで、家族丸ごとの助け合いをスローガンに、少子・高齢社会の中ですべての年齢層の市民を対象に、助け合いの精神に基づいたふれあい社会づくりの目標をもとに、ともに協力・参加し合つて福祉サービスを提供することによって、誰もが安心して暮らせる地域福祉社会を実現することをもって、社会全体の利益に寄与することを目的とする。	保健・医療・福祉

資料：愛知県ホームページ

○地域特性のまとめ

- 住民参加を取り入れた、まちづくりが活発化。
- 木曽川という地域資源を活かした住民参加活動。

②課題と対応方向

- 地域住民・コミュニティと行政の協働によるまちづくり

(8) 行財政運営

①地域の現状・将来見通し

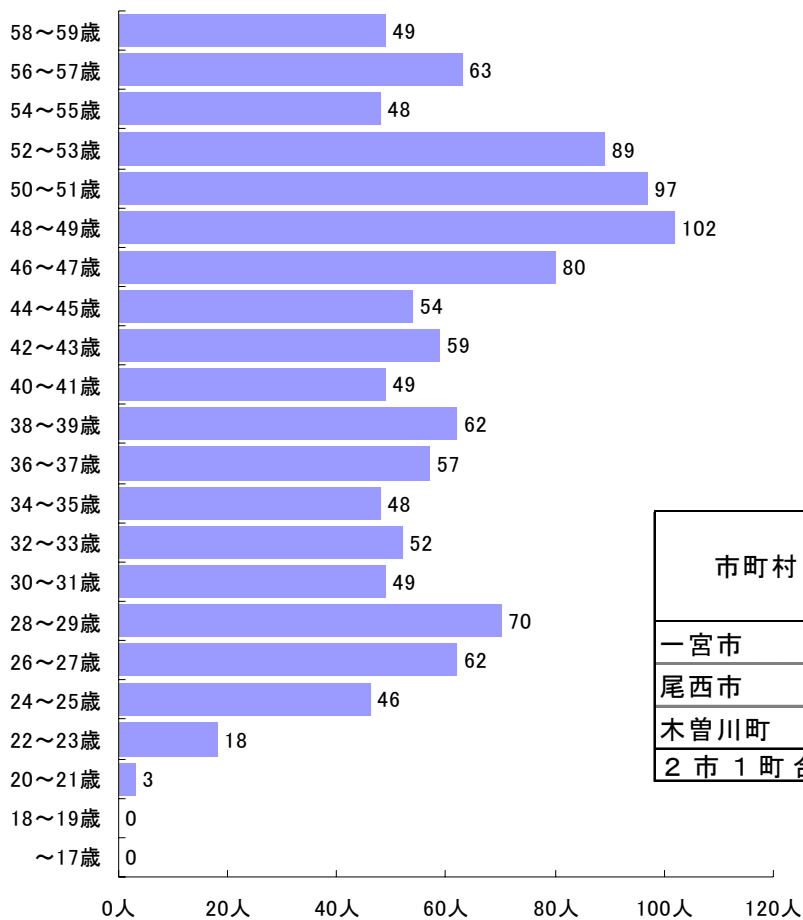
【職員】一般職員の合計は、1,157人。年齢構成は、50歳前後の年齢層と20歳台後半の年齢層が多い。

【財政】2市1町合計の歳入総額は約900億円、歳出総額は約864億円。財政力指数は、一宮市が0.79と最も高く、次いで木曾川町0.69、尾西市0.68となっている。経常収支比率は、各市町とも80%をやや上回る水準にある。

【地方分権・行財政改革】2市1町は政令市に次ぐ行政権限を持つ中核市としての要件を満たしており、住民に身近な保健・福祉などの行政サービス提供が可能となる。

【広域連携】2市1町では、基本健康診査・子宮ガン検診の広域化、保育所広域入所、地域情報化計画の策定、各市町図書館の相互利用等が行われている。また、2市1町すべてが関連する一部事務組合として、尾西地方特定公共下水道管理組合、尾張農業共済事務組合がある。

【図表】職員の状況



市町村	職員（一般行政職）	
	職員数（人）	平均年齢（才）
一宮市	820	42.4
尾西市	223	43.1
木曾川町	114	41.3
2市1町合計	1,157	42.4

平成14年4月1日現在（地方公務員給与実態調査ベース）

資料：愛知県「市町村行財政のあらまし（平成15年1月）」

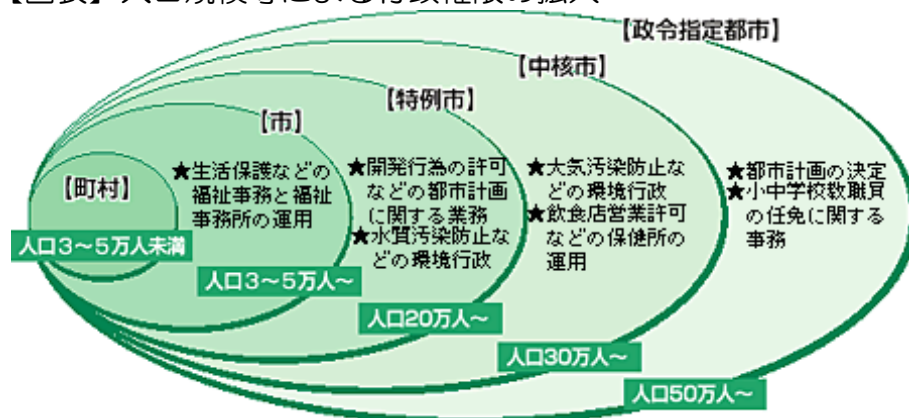
【図表】財政状況比較(13年度決算)

	標準財政規模 (千円)	歳入総額 (千円)	歳出総額 (千円)	地方税 (千円)	普通交付税 (千円)	財政力指数 3カ年平均	経常収支比率			公債費比率 3カ年平均	自主財源比率	人口1人当たり 自主財源額(円)
							経常経費 人件費充当率	経常経費 公債費充当率	経常経費 公債費充当率			
県計	1,587,094,057	2,657,560,938	2,582,675,233	1,316,102,685	127,667,474	0.92	81.3	27.3	15.1	12.6	66.2	252,428
都市計	763,615,343	1,175,254,034	1,131,422,059	656,233,195	44,315,567	0.99	75.6	26.8	12.1	10.0	69.4	218,211
町村計	256,092,268	391,877,100	371,137,055	177,959,320	51,810,781	0.76	76.1	26.6	11.1	8.8	61.5	215,296
一宮市	46,312,799	65,861,767	63,583,127	33,215,092	7,769,239	0.78	81.6	27.8	14.9	11.3	61.8	146,767
尾西市	10,274,179	16,194,592	15,478,848	6,712,124	2,664,319	0.67	80.6	30.0	14.0	11.9	52.9	146,484
木曽川町	5,350,230	7,603,011	7,366,470	3,569,945	1,376,598	0.66	82.2	28.5	5.6	4.4	60.1	145,421
2市1町計	61,937,208	89,659,370	86,428,445	43,497,161	11,810,156							
(県内シェア)	(3.9%)	(3.37%)	(3.35%)	(3.3%)	(9.25%)							
(同 豊橋市)	(4.74%)	(4.21%)	(4.17%)	(4.59%)	(5.62%)							
(一宮市の類似団体)												
豊橋市	75,194,939	111,797,694	107,813,259	60,471,205	7,180,631	0.85	79.3	27.5	13.4	11.2	62.9	197,009
岡崎市	62,422,048	97,223,489	92,626,176	57,535,769	0	1.03	73.9	25.2	9.8	7.9	74.3	214,878
春日井市	50,842,216	82,288,309	81,842,219	43,299,097	2,022,805	0.94	82.9	26.4	17.6	14.6	57.9	165,344
豊田市	95,770,498	144,738,687	138,816,796	89,456,061	0	1.44	59.5	20.2	9.5	7.8	81.1	342,436
(その他)												
瀬戸市	21,928,367	34,632,171	33,298,351	18,391,843	1,517,655	0.90	80.4	32.8	12.1	9.9	66.3	177,794
半田市	22,303,806	37,513,079	36,831,427	20,001,240	694,726	0.92	87.7	25.5	17.0	15.0	66.5	223,057
津島市	12,540,593	18,464,199	17,555,653	8,683,861	2,496,676	0.73	80.8	33.6	16.6	13.3	59.5	166,537

資料: 県総務部市町村課「市町村行財政のあらまし(平成15年1月)」

※ 都市計は名古屋市を除く計

【図表】人口規模等による行政権限の拡大



【図表】2市1町における一部事務組合の状況

平成15年4月1日現在

組合の名称	設立許可年月日	共同処理する事務	一宮市	尾西市	木曾川町	その他
尾西地方特定公共下水道管理組合	S36.4.1	特定公共下水道事業の管きよの埋管、築造、処理場の建設その他の事業及びこれらの維持管理に関する事務	○	○	○	
尾張農業共済事務組合	H15.2.12	農業共済事業に関する事務	○	○	○	23市町

資料：愛知県総務部市町村課資料等

○地域特性のまとめ

- 各市町とも財政状況は厳しい。
- 2市1町での広域連携は、従来から活発。

②課題と対応方向

- 中核的都市としての行財政基盤の強化
- 地方分権の受け皿となる専門性の高い職員の養成、確保

2 2市1町のまちづくりの動向

2市1町が一体となった新しいまちづくりを進めるにあたり、それぞれの市町が掲げている将来像や、各市町のこれまでの取り組み姿勢を十分尊重していくため、各市町の総合計画に示された2市1町のまちづくりに対する課題意識を把握します。

(1) 現行の2市1町の総合計画の概要

	第5次一宮市総合計画 2001年～2010年	第5次尾西市総合計画 1998年～2010年	第3次木曾川町総合計画 1996年～2005年
将来像	「心のゆたかさ」があふれるまち	心ふれあう緑豊かな複合産業都市	新しい時代を紡ぐ水と文化と心のまち“きそがわ”
都市基盤の整備	安全で快適な魅力あふれる環境都市をめざして	ゆとりと潤いのあるまちに21世紀のまちづくり	魅力ある居住空間を生みだす生活・都市基盤の整備
生活環境の整備		やすらぎにみちた緑豊かなまちに21世紀の環境整備	水と緑の自然と人にやさしいまちづくり
保健・医療・福祉の充実	健康で人にやさしい福祉都市をめざして	しあわせな生活が営めるまちに21世紀の福祉と医療	安心と潤いのある健康と福祉のまちづくり
教育・文化の充実	個性と創造性をはぐくむ文化都市をめざして	豊かな個性をはぐくむまちに21世紀の教育と国際交流	地域から芽生える生涯学習のまちづくり
産業の振興	人の行きかう活力ある産業都市をめざして	新たな活力を生みだすまちに21世紀の地域の活性化	新しい産業の発展を見据えた賑わいのあるまちづくり
自治	都市自治の確立をめざして	住みよい信頼のできるまちに21世紀の自治体組織	地域のイメージアップ施策の展開

(参考：いままでの総合計画における将来像)

	一宮市	尾西市	木曾川町
第1次	明るく、美しく、暮らしよい大一宮市	明るく、住みよい、豊かで健康な街づくり	はたおり、文化福祉都市、緑とひかりのやすらぎの町
第2次	充実した活力と住みたくなる都市	明るく、住みよい、豊かで健康な街づくり	はたおり、文化福祉都市、緑とひかりのやすらぎの町
第3次	豊かで活力と潤いのある都市	明るく、住みよい、豊かで健康な街づくり 住まいと産業の調和がとれた都市	
第4次	やすらぎ、ぬくもり、そして夢のあるまち	住まいと産業の調和がとれた都市	

(2) 総合計画で指摘されている将来の展望と課題

① **地球共生時代**（進む国際化と地域間交流、環境問題）

交通・情報ネットワークの発展により、人・もの・情報が国境を越えて活発に交流し、相互に依存したグローバル社会となっています。今後は、環境への負荷の少ない循環型社会を目指し、自然環境を保全し、人と自然が共生する社会を築くことが求められています。

② **少子・高齢時代**

当該地域の総人口は、少子化の進行により、平成 22 年頃をピークに、人口減少に転じると共に、4人に1人が高齢者という状態になると予想されます。そこでは、労働力が減少し、地域活力の逡減が予測されます。将来は、安心して子供を産み、健やかに育つ子育て環境づくり、高齢者や女性が能力を発揮できる就業環境づくり、いきいきと暮らせる生活環境づくりが求められます。

③ **高度情報時代**

情報通信技術の飛躍的な発展により、多種多様な情報入手や利用が容易になります。こうしたITの進展に対応し、産業、教育・文化、市民生活などの各分野における情報システムの構築や情報通信基盤の整備を図りながら、情報を手軽に利用でき、自らが発信し、世界と交流できる情報化社会の構築が求められています。

④ **個性重視の時代**（本物志向）

経済的な豊かさを背景として、精神的な豊かさや暮らしの中に個性や創造性を求める志向が強まっています。一人ひとりのライフスタイルが多様化し、スローライフと言われるゆとりある暮らしを楽しみ、本物志向の生活を楽しむ人が増えています。今後こうした、個性重視の時代に対応したまちづくりが求められています。

⑤ **分権・自立の時代**

地方分権の進展により、自治体の役割と責任が増大し、地域の特性を活かした魅力あるまちづくりが求められています。当該地域においても、行政改革の推進、政策形成能力の向上などにより、自治能力の向上が求められ、また、住民側のまちづくりへの意識向上や積極的な参加が求められています。行政と住民との協働による自治の確立が重要となっています。

⑥ **都市化、高度化する住民生活**

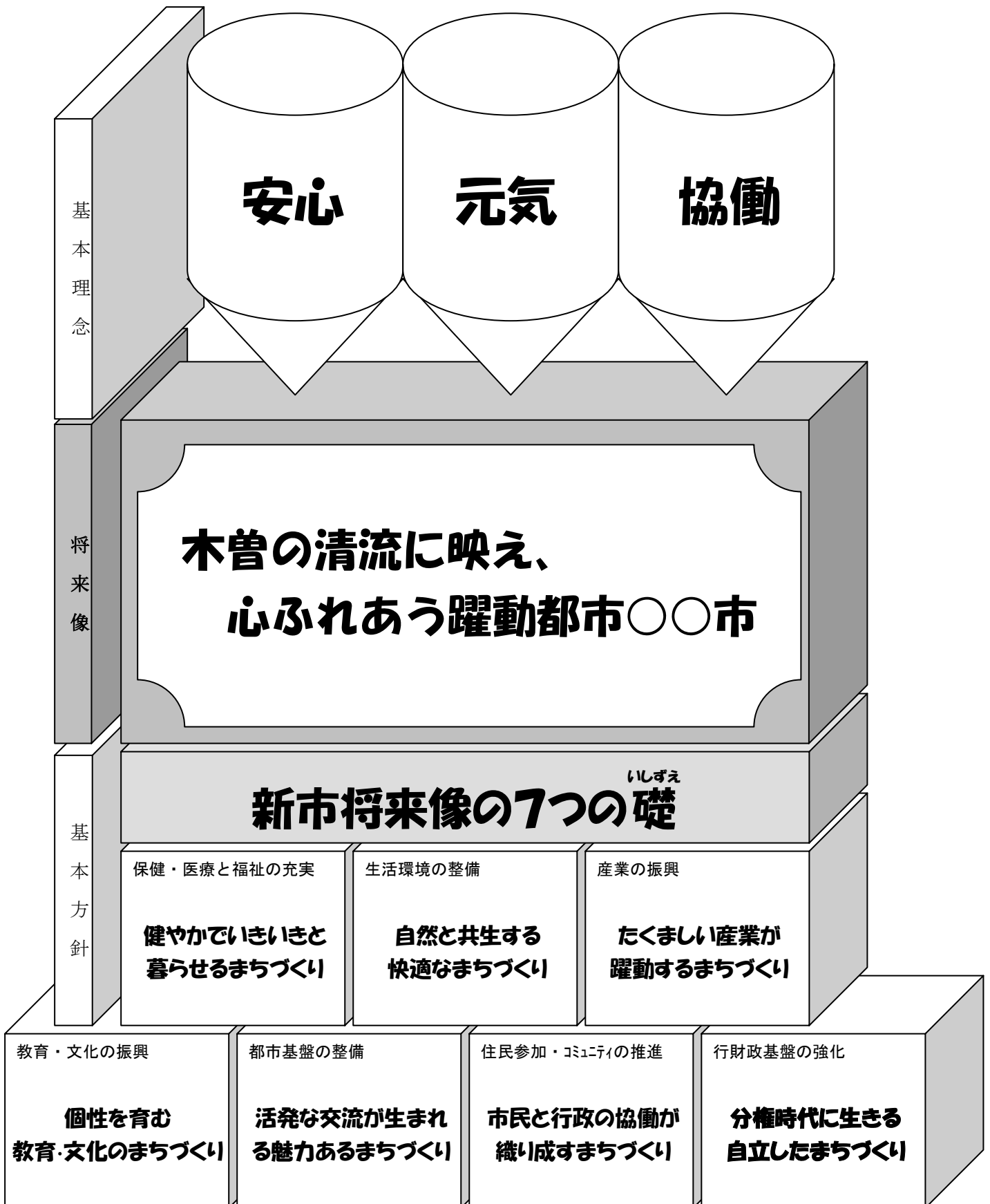
人々の中では、より都市的で快適な生活を享受したい、あるいは様々なライフスタイルを実現したいといったニーズの高度化・多様化がみられます。こうしたニーズへの対応には、社会基盤や生活基盤の一層の充実が求められますが、財政の健全性の維持も行政に課せられた重要な責務であるといえます。現在の厳しい社会経済情勢下では、事業の選択と集中により、持続可能な行政運営と住民ニーズ充足とのバランスのあるまちづくりが求められます。

⑦ **厳しい地方の経済環境**

バブル経済崩壊以降長期的な低迷が続き、当該地域においても、地場産業の衰退、企業でのリストラクチャリング、所得の伸び悩み等、経済環境は厳しい状況となっています。今後とも、地域の活力となる新しい産業の創出、既存産業の高度化・転換といった産業振興等が求められています。

3 新市建設の基本方針

新市の将来像の体系図



(1) 基本理念

基本
理念

安心

住民や地域社会を取り巻く環境は大きく変化し、それに伴う行政サービスの高度化・多様化へのニーズも高まっています。

なかでも、少子・高齢化の進展、ライフスタイルの多様化に伴い、保健・医療・福祉をはじめとした各種行政サービスや生活環境の充実がより一層求められています。

さらに、モータリゼーションの進展に伴う交通災害や地震など大規模自然災害の危険性の高まりなど、様々な不安を払拭するため、ハード・ソフトにわたって、いわゆるセーフティネットを幅広くはりめぐらせる必要があります。

暮らし、産業活動など幅広い分野にわたり、安心して諸活動が展開できる地域づくりを目指します。

元気

長引く産業経済活動の低迷や、間近に迫った人口減少時代など、社会全般に閉塞感が広がる中、地域の活力を高めながら、長期にわたり地域間競争を生き抜くことのできる足腰の強い地域づくりが求められています。

とりわけ、繊維産業を中心とした産業構造の高度化や新産業の創出、雇用の確保など地域の産業経済活動全般に活力を取り戻すことはこの地域の喫緊の課題であり、新しいまちづくりを進める中で、重点的に取り組んでいく必要があります。

また、当地域は、古くから交通の要衝にあり、最近では、高速交通基盤の整備充実が図られるなど、広域交通条件が高まるとともに、域内では、一宮駅周辺を中心とした放射状の鉄道・道路網も充実するなど、交通結節性が極めて高く、この好条件を生かした活発な交流が展開される地域づくりが求められます。

住民、企業などこの地域に関わりを持つ全ての主体が元気に活動できるまちづくりを目指します。

協働

価値観の個性化・多様化とともに、あらゆる分野において、多様な地域づくりが求められています。

とりわけ、住民意識や社会貢献意欲の高まりを背景に、NPO、ボランティアなど住民が主体的に地域づくりに関わるケースや、生き生きとした活動を求め、積極的に地域社会に関わるケースなど、地域社会における住民、企業など市民の役割や責任がより一層大きなものになっています。

一方、行政においても、少子高齢化や環境意識の高まり、さらに地方分権のうねりなど、社会を取り巻く大きな変化に的確に対応できる地域づくりを進めるため、市民の多様な参加機会が確保された開かれた施策運営が求められています。

こうした状況を踏まえ、これからは、あらゆる地域づくりの分野にわたって、市民・行政が良好で緊密な連携のもと、互いに協力し合いながら様々な取組みを進めていくことが必要です。

市民と行政が協働による、きめ細やかなまちづくりを目指します。

(2) 新市の将来像

将来像

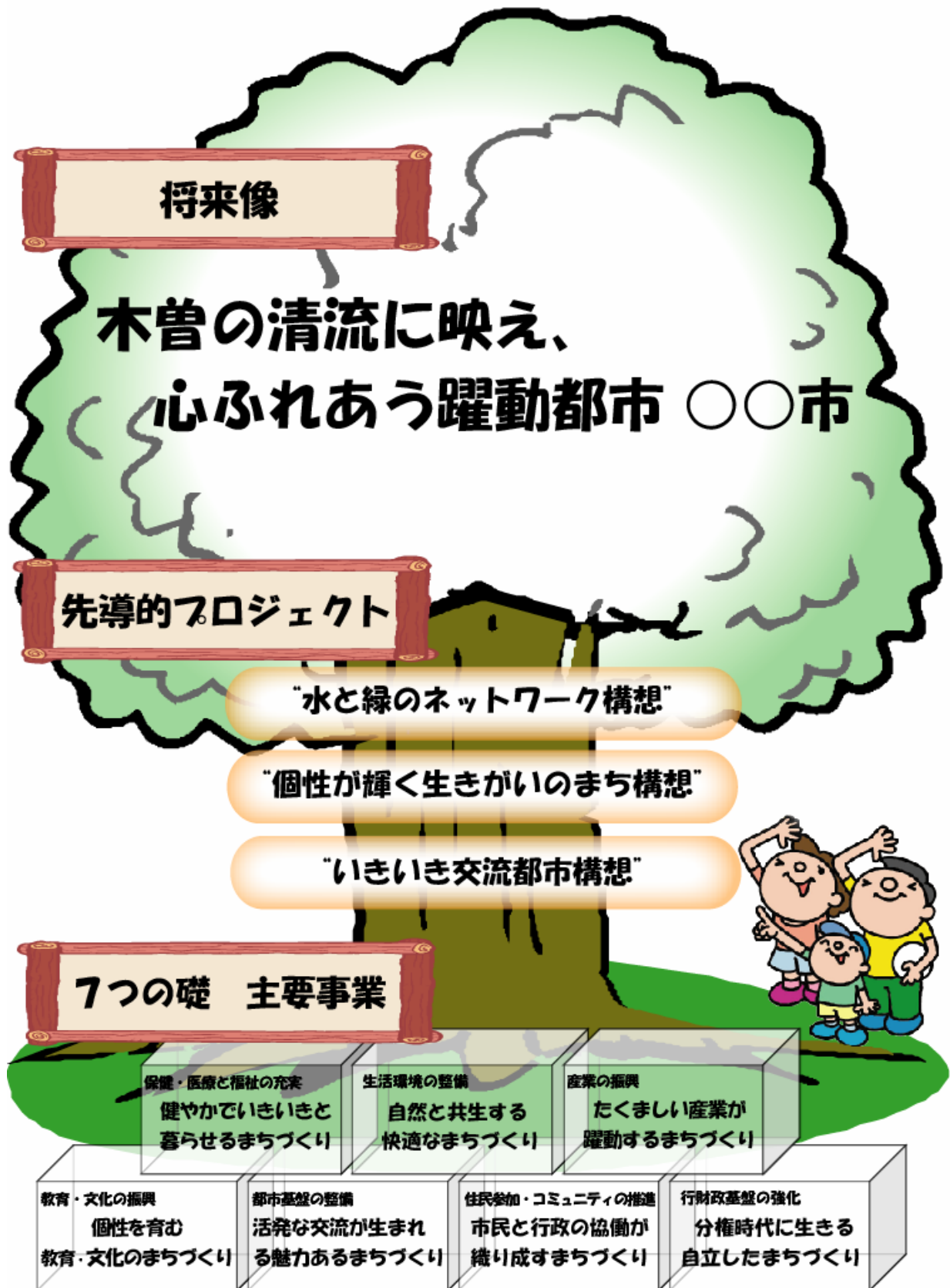
木曽の清流に映え、 心ふれあう躍動都市〇〇市

2市1町が合併すると、木曽川に接する距離が1.8km余となり、文字どおり「母なる木曽川」の恩恵を受けた「新都市」となります。
この木曽川が育んだ豊かな自然やこれまで蓄積された歴史・文化を礎に次世代を担う人材づくりとしての教育の充実や地域活動向上のための産業振興など躍動感あふれるまちづくりを目指します。

(3) 基本方針

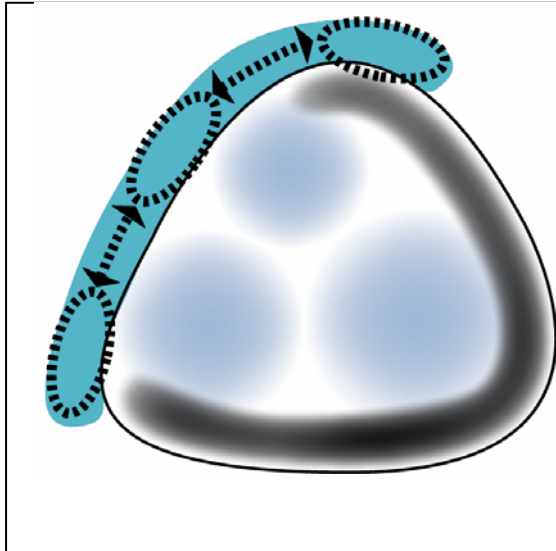
基本方針	保健・医療と福祉の充実 健やかでいきいきと暮らせるまちづくり	少子高齢化がますます進行する中、人々が健康増進を図り、生涯を通じて、安心していきいきと暮らせるまちづくりを実現します。
	生活環境の整備 自然と共生する快適なまちづくり	新市の北西を取り囲む木曽川がもたらす豊かな恵みを大切にしながら、快適で潤いに満ち安全なまちづくりを実現します。
	産業の振興 たくましい産業が躍動するまちづくり	この地で蓄積された技術力等を最大限に活かしつつ、繊維産業をはじめとした既存産業の高度化を行うとともに、新規産業の創出やブランド力の強化を図り活力に満ちたまちづくりを実現します。
	教育・文化の振興 個性を育む教育・文化のまちづくり	未来を担う個性ゆたかな子どもたちを育てることができまちづくり、そして市民一人ひとりが自由に学び、楽しむことができる生涯学習・生涯スポーツなど自己実現の機会豊かなまちづくりを実現します。
	都市基盤の整備 活発な交流が生まれる魅力あるまちづくり	広域交通の結節点というポテンシャルを活かしつつ、尾張地域の中核都市にふさわしい、広く人・モノ・情報が集まり、交流するまちづくりを実現します。
	住民参加・コミュニティの推進 市民と行政の協働が織り成すまちづくり	市民と行政とのパートナーシップや、NPOなどの住民組織の活躍による市民参画など、市民と行政が共に力を合わせたまちづくりを実現します。
	行財政基盤の強化 分権時代に生きる自立したまちづくり	合併を機に強力に行財政改革を推進しつつ、地方分権の時代に対応した行財政基盤の確保、足腰の強化を図り、健全で自立したまちづくりを実現します。

4 新市の施策



※先導的プロジェクト：新市のまちづくりを先導する事業

先導的プロジェクト

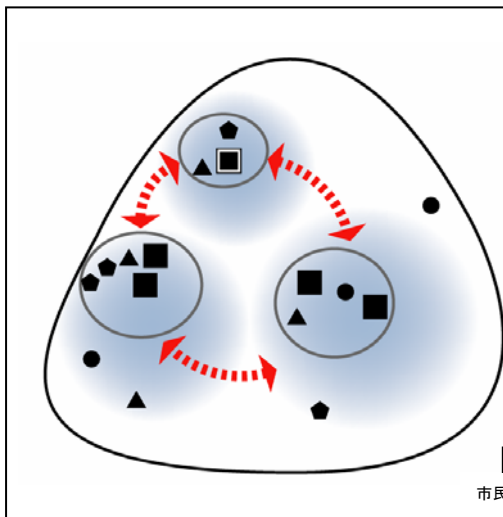


先導的プロジェクト1

“水と緑のネットワーク構想”

木曾の清流に育まれた豊かな自然環境を最大限に生かし、どこに住んでいても、水環境や緑などの自然や自然を生かしたレクリエーション空間などが身近に感じられる、うるおいある環境整備や、環境にやさしい都市システムづくりに重点的に取り組めます。

- ◇ 木曾川河川敷公園整備（及び遊歩道整備の検討）
（尾西地区）
- ◇ 緑道整備
- ◇ 総合体育館建設（一宮地区）
- ◇ 余熱利用施設建設（一宮地区）
- ◇ 環境対策事業（環境基本計画の推進、下水道整備、廃棄物対策）



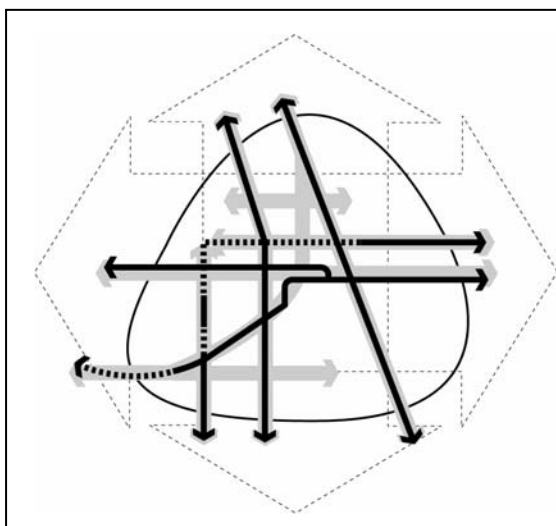
先導的プロジェクト2

“個性が輝く生きがいのまち構想”

個々人の価値観が多様化していく中で、地域の伝統や文化を活かしながら、様々な生きがい活動、自己実現活動が展開できる地域づくりに重点的に取り組めます。

- ◇ 福祉・医療施策の充実
- ◇ 文化会館建設（木曾川地区）
- ◇ 市民文化会館自主事業の充実
- ◇ 親水的ｽﾍﾟｰｽ・レクリエーション施設建設（木曾川地区）
- ◇ 地区公民館の充実
- ◇ 生涯学習機会の充実

市民会館等
 文化広場
 図書館
 博物館等



先導的プロジェクト3

“いきいき交流都市構想”

合併を機に、新市内の結びつきを一層強めるとともに、広域交通の利便性を活かし、広域的な拠点性を一層高め、地域内外の交流を一層促進するため、東西軸・南北軸の幹線道路網整備と広域拠点性の向上に重点的に取り組めます。

- ◇ 一宮駅周辺開発
（尾張一宮駅ビルのリニューアル検討含む）
- ◇ インターチェンジ周辺開発
- ◇ JR木曾川駅周辺整備
- ◇ 幹線道路網整備
（東西：新一宮尾西線、北尾張中央道
南北：西尾張中央道、北尾張中央道）

7つの礎 主要事業

(1) 保健・医療と福祉の充実

健やかでいきいきと暮らせるまちづくり

少子高齢化がますます進行する中、人々が健康増進を図り、生涯を通じて、安心していきいきと暮らせるまちづくりを実現します。

施策の方向性

- | | |
|-------------|--------------|
| ①保健予防の充実 | ②健康づくりの推進 |
| ③医療体制の充実 | ④地域福祉の向上 |
| ⑤高齢者福祉の向上 | ⑥障害者（児）福祉の向上 |
| ⑦母（父）子福祉の向上 | ⑧勤労者福祉の向上 |
| ⑨児童の健全育成 | |

主要施策

- 市民病院整備事業
- 介護サービス充実事業
- 乳幼児医療給付事業
- 保健所運営事業
- 予防接種管理支援及び乳幼児健康管理システム事業
- 健康日本21 地方計画策定事業
- 健康診査事業
- 生きがいと健康づくり推進事業
- 育児ボランティア育成事業

など

(2) 生活環境の整備

自然と共生する快適なまちづくり

新市の北西を取り囲む木曾川がもたらす豊かな恵みを大切にしながら、快適で潤いに満ち安全なまちづくりを実現します。

施策の方向性

- | | |
|-------------|------------|
| ①消防・防災体制の充実 | ②交通安全の確保 |
| ③防犯体制の充実 | ④住宅等の整備 |
| ⑤公園緑地の整備 | ⑥ごみ処理体制の充実 |
| ⑦し尿処理体制の充実 | ⑧上水道の整備 |
| ⑨下水道の整備 | |

主要施策

- 木曾川河川敷公園整備事業（及び遊歩道整備の検討）（尾西地区）
- 緑道整備事業
- 公園緑地整備事業
- 環境基本計画の推進
- 最終処分場整備事業
- 粗大ゴミ処理施設建設事業
- 余熱利用施設建設（一宮地区）
- 斎場整備事業
- 防災関係機関連携（防災無線）強化事業
- 河川等水位監視システム整備事業
- 消防署改修（耐震）事業
- 市営住宅建設事業
- など

(3) 産業の振興

たくましい産業が躍動するまちづくり

この地で蓄積された技術力等を最大限に活かしつつ、繊維産業をはじめとした既存産業の高度化を行うとともに、新規産業の創出やブランド力の強化を図り活力に満ちたまちづくりを実現します。

施策の方向性

- | | |
|----------|-----------|
| ①工業の振興 | ②商業の振興 |
| ③農水産業の振興 | ④観光・交流の振興 |
| ⑤消費生活の向上 | |

主要施策

- 工業基盤整備
- 企業の立地の促進に関する奨励事業
- 新規産業の創出
- 地場産業のブランド力強化
- インターチェンジ周辺開発
- ジャパン・テキスタイル・コンテストの開催
- 地場産業の高度化推進支援事業
- 地産地消の推進事業
- 環境循環型農業の普及
- 農業経営基盤の強化
- 商店街振興事業
- 一宮七夕まつり・尾西まつり・一豊まつりの開催

など

(4) 教育・文化の振興

個性を育む教育・文化のまちづくり

未来を担う個性ゆたかな子どもたちを育てることができるまちづくり、そして市民一人ひとりが自由に学び、楽しむことができる生涯学習・生涯スポーツなど自己実現の機会豊かなまちづくりを実現します。

施策の方向性

- | | |
|----------|------------|
| ①学校教育の充実 | ②生涯学習の推進 |
| ③地域文化の振興 | ④スポーツ活動の振興 |

主要施策

- 少人数学級・少人数指導の推進
- 文化会館建設事業（木曽川地区）
- 総合体育館建設事業（一宮地区）
- 学校施設改修（耐震）事業
- 地区公民館施設整備
- 学校週5日制学校外活動推進事業
- 親水的ｽﾎｰﾂ・レクリｰｼｮﾝ施設建設事業（木曽川地区）
- 市民文化会館自主事業の充実
- 生涯学習機会の充実

など

(5) 都市基盤の整備

活発な交流が生まれる魅力あるまちづくり

広域交通の結節点というポテンシャルを活かしつつ、尾張地域の中核都市にふさわしい、広く人・モノ・情報が集まり、交流するまちづくりを実現します。

施策の方向性

- ①総合的な土地利用の推進
- ②交通体系の整備
- ③市街地の整備
- ④河川及び周辺の整備

主要施策

- JR木曽川駅周辺整備
- 一宮駅周辺開発（尾張一宮駅ビルリニューアル検討含む）
- 幹線道路網整備事業
- 中心市街地の整備
- 循環（巡回）バス運行事業
- 総合治水計画策定事業
- 雨水貯留施設等整備事業

など

(6) 住民参加・コミュニティの推進

市民と行政の協働が織り成すまちづくり

市民と行政とのパートナーシップや、NPOなどの住民組織の活躍による市民参画など、市民と行政が共に力を合わせたまちづくりを実現します。

施策の方向性

- ①住民参画の促進
- ②NPO団体等との協働
- ③国際交流の推進
- ④男女共同参画の推進

主要施策

- NPO等活動支援事業
- 男女共同参画推進事業
- 国際交流協会補助事業
- アダプトプログラム推進事業
- 新たな住民参加・協働の仕組みの検討

など

(7) 行財政基盤の強化

分権時代に生きる自立したまちづくり

合併を機に強力に行財政改革を推進しつつ、地方分権の時代に対応した行財政基盤の確保、足腰の強化を図り、健全で自立したまちづくりを実現します。

施策の方向性

①行政運営の効率化

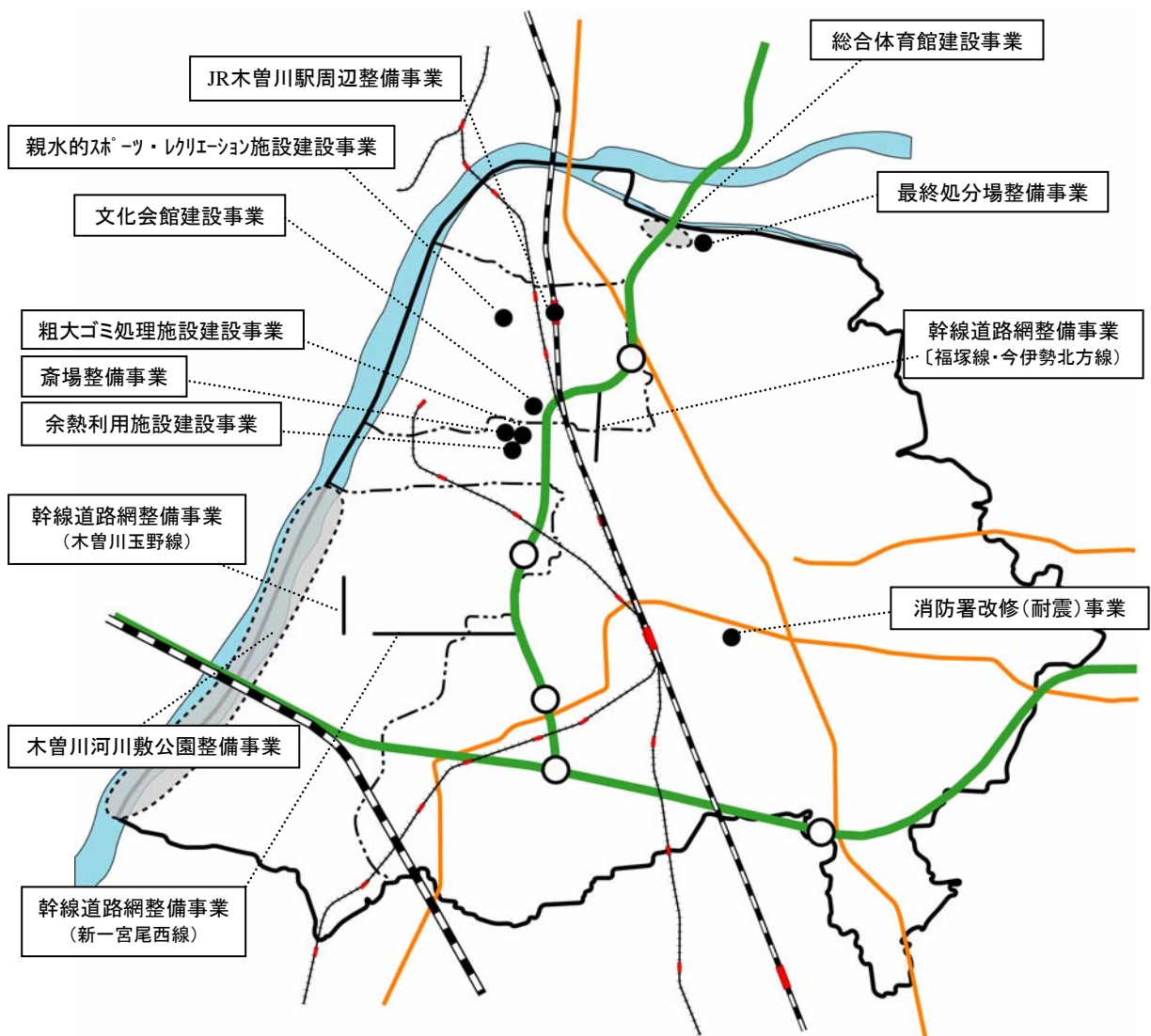
②財政運営の効率化

主要施策

- 行政情報システム整備事業
- 行政評価事業
- PFI手法導入
- 新庁舎整備の検討

など

主要事業位置図



その他事業
○防災関係機関連携(防災無線)強化事業
○河川等水位監視システム整備事業
○学校施設改修(耐震)事業
○市営住宅建設事業
○合併市町村振興基金

5 公共施設の適正配置と整備

公共施設の適正配置と整備については、一体的、かつ効率的なまちづくり、市民サービスの維持・向上という観点から、地域コミュニティとの役割分担や、これまでの各地域の成り立ち、特殊性に留意しながら、各地域でバランスある配置となるよう検討することが必要である。

その際、市民生活に急激な影響を及ぼすことのないよう、各地域の住民の要望を十分踏まえるとともに、財政事情にも考慮しながら、計画的に進めていくことを基本とする。

なお、一宮市役所を本庁舎、尾西市役所及び木曽川町役場については、それぞれ尾西庁舎、木曽川庁舎とし、住民窓口サービスが低下しないよう十分配慮し、電算処理システムの統合やネットワーク化など必要な機能の整備を図る。

6 財政推計

(1) 前提条件

この推計は、現段階での協議結果及び事務局案に基づき推計しております。

建設計画事業、事務事業の調整結果など合併協定項目の協議結果によって変動します。

(2) 推計基準

推計の基本的な考え方

収入	推計基準	推計の基本的な考え方
地方税 個人市民税 法人市民税 固定資産税及び都市計画税 事業所税 市県民営業特別交付金 地方交付税	・過去の実績、人口推計等を勘案し算定しています。 (合併効果) ・不均一課税特例及び尾西市の法人市民税超過課税分については調整方針案に基づき増減額を見込んでいます。 ・また、事業所税については、事業所税の課税団体の指定の延期の特例（5年間の課税免除期間）を活用し、平成22年度から見込んでいます。	個人市民税については、生産年齢人口の推計に基づき推計しています。 法人市民税については、対前年度比欄は推計しています。その他の2年は対前年度比2.25%増で推計しています。 (合併効果) 個人市民税については、平成22年度から木曾川町の均等割額をそれまでの2,000円から2,500円にするものとして推計しております。 法人市民税については、平成17年度から尾西市の法人税超過課税分446百万円（平成14年度決算額）を減額して推計しています。 事業所税については、平成22年度から課税するものとして年額1,601百万円を見込んでいます。
地方譲与税 利子割交付金 地方消費税交付金 自動車取得税交付金 地方特例交付金	・過去の実績等により見込んでいます。	過去の実績額をもとに一定額で推計しています。
地方交付税	・普通交付税については、15年度制度に基づいた算定を基本に、過去の実績等により見込んでいます。 (合併効果) ・普通交付税の算定の特例（合併算定書）により算定し、合併特別償交付税措置を併せて見込んでいます。 ・特別交付税については、合併措置分を見込んでいます。 ・平成21年度に中核市に移行すると仮定し同年度から普通交付税必要額の増額を見込んでいます。	平成21年度まで対前年度比4%減とし、その後横ばいで推計しています。 (合併効果) 平成17年度から5年間、合併補正として2,390百万円の基準財政需要額の増額を見込んでいます。 平成21年度から中核市移行にともない年額2,296百万円の基準財政需要額の増額を見込んでいます。 平成18年度から合併特別償必要額の増額を見込んでいます。 平成21年度から事業所税収入にともない年額1,190百万円の基準財政収入額の増額を見込んでいます。 平成17年度から3年間、特別交付税の合併措置として計945百万円の増額を見込んでいます。 ※（普通交付税）＝（基準財政需要額）－（基準財政収入額）
交通安全特別交付金 分担金及び負担金 使用料 手数料	過去の実績等により見込んでいます。 ・過去の実績等により見込んでいます。	過去の実績額をもとに一定額で推計しています。 過去の実績額をもとに一定額で推計しています。
国庫支出金 県支出金	・過去の実績及び人口推計等による影響を勘案し見込んでいます。 (合併効果) ・事務事業の調整等及び建設計画主要事業に係る財源の増減及び合併に係る財政支援（合併市町村補助金・県合併特別交付金）を見込んでいます。	負担金については、平成21年度まで扶助費の増減とも運動させながら推計しています。 補助金については、平成21年度まで国庫補助金は対前年度比2%減、県補助金は対前年度比1%減とし、その後横ばいで推計しています (合併効果) 国：合併市町村補助金660百万円を見込んでいます。 県：合併支援特別交付金600百万円を見込んでいます。
財産収入 寄付金 繰入金 繰越金 諸収入	過去の実績等により見込んでいます。	過去の実績額をもとに一定額で推計しています。
市債	・各市町の通常実施事業に見合った記債額を見込んでいます。 ・現行制度に基づく減税補てん償及び強弱財政対策借入額を見込んでいます。 (合併効果) ・建設計画主要事業の財源として合併特別償及び通常債を見込んでいます。 ・なお、地方債の借入れについては後年度の償還負担を勘案し、必要最小限の借入にとどめています。	減税補てん償については、平成15年度水準で一定と見込んでいます。 臨時財政対策債借入額については、交付枠の増減に連動させながら推計しています。 合併特別償として、総額25,989百万円（うち合併関連事業分21,062百万円、既存事業残替分4,927百万円）を計上しています。

歳出	推計基準	推計の基本的な考え方
<p>人件費</p>	<p>・現在の各市町の定員管理計画等による定数に基づき、各市町の給与、報酬を基本に見込んでいます。</p> <p>(合併効果)</p> <p>・類似団体等を参考に退職者の補充を抑制することにより、一般職職員の削減を見込んでいます。</p> <p>・特別職、議会議員の減員を見込んでいます。</p>	<p>現在の各市町の定員管理計画等による定数に基づき、各市町の給与、報酬を基本に推計しています。</p> <p>(合併効果)</p> <p>一般職職員については、現給を保障するものとし、県内同規模市(岡崎市)の2.126人を目標に、合併後10年間で退職者の70～10%不補充により9333人を減員するとともに、中核市移行に伴い保健所及び福祉職員として70人を増員すると仮定し、推計しています。</p> <p>特別職職員については、現一宮市の体制及び報酬額により推計しています。</p> <p>議会議員については、在任特別により2年間は現報酬のまま在任するものとし、平成19年以降は統一宮市の報酬額をもとに、法定定数である46人で推計しています。</p>
<p>物件費・維持補修費</p>	<p>・過去の実績等により見込んでいます。</p> <p>(合併効果)</p> <p>・建設計画事業に伴う経費、合併直後の臨時経費及び事務事業の調整方針案に基づき見込むとともに、合併による事務経費の削減効果を見込んでいます。</p>	<p>平成14年度の決算額をもとに、対前年比1.0～0.2%増で推計しています。</p> <p>(合併効果)</p> <p>合併前効果(スクールメトリック)として、平成20年度以降物件費の1～4%を見込んでいます。</p> <p>平成17年度に、電算システム統合費用分(400百万円)を計上しています。</p>
<p>扶助費</p>	<p>・過去の実績、人口推計等を勘案し見込んでいます。</p> <p>(合併効果)</p> <p>・事務事業の調整方針案に伴う増減分を見込んでいます。</p>	<p>平成14年度決算額をもとに、対前年比2.0～0.5%増で推計しています。</p> <p>社会福祉費については、対前年比2.0～0.5%増で推計しています。</p> <p>老人福祉費については、老年人口の増加に基づき推計しています。</p> <p>児童福祉費については、乳児医療制度の変更を加味したうえで、年少人口の増加に基づき推計しています。</p> <p>生活保護費については、対前年比2.0～0.5%増で推計しています。</p> <p>教育については、横ばいで推計しています。</p> <p>(合併効果)</p> <p>事務事業の調整方針案に伴う増減分を見込んでいます。</p>
<p>補助費等</p>	<p>・過去の実績等により見込んでいます。</p> <p>(合併効果)</p> <p>・事務事業の調整方針案に基づき見込むとともに、尾西、木曾川の下水道事業が特別会計から企業会計に移行することに伴う企業会計に移行することに伴う増減分及び尾西、木曾川の下水道事業補助金の増減を見込んでいます。</p>	<p>平成14年度の決算額をもとに、平成26年度まで対前年比1.0～0.2%増、平成27年度以降横ばいで推計しています。</p> <p>(合併効果)</p> <p>事務事業の調整方針案に伴う増減分及び尾西、木曾川の下水道事業が特別会計から企業会計に移行することに伴う増減分を見込んでいます。</p>
<p>普通建設事業費</p>	<p>・各市町の既存の計画に基づく事業量を見込んでいます。</p> <p>(合併効果)</p> <p>・建設計画の主要事業に係る経費を見込んでいます。</p> <p>・2市1町の既存入債の元利償還金を見込んでいます。</p>	<p>平成14年度決算額をもとに、平成21年度まで5.0%減、平成22年度以降横ばいで推計しています。</p> <p>単独事業については、平成21年度まで3.0%減、平成22年度以降横ばいで推計しています。</p> <p>(合併効果)</p> <p>合併関連事業費を別紙「合併関連事業・合併市町村振興基金について」とおとり計上しています。</p>
<p>公債費</p>	<p>・建設計画の主要事業に係る経費を見込んでいます。</p> <p>(合併効果)</p> <p>・2市1町の既存入債の元利償還金を見込んでいます。</p>	<p>既発行債及び新規発行債に係る元利償還金を計上しています。</p> <p>(合併効果)</p> <p>合併関連事業費をもとに、一定額で推計しています。</p>
<p>積立金</p>	<p>・過去の実績等により財政調整基金等への積立を見込んでいます。</p> <p>(合併効果)</p> <p>・合併市町村の地域振興を目的とする「合併市町村振興基金」の積立を見込んでいます。</p>	<p>過去の実績額をもとに一定額で推計しています。</p> <p>合併市町村振興基金(40億円)を計上しています。</p>
<p>投資及び出資金</p>	<p>・過去の実績等により見込んでいます。</p> <p>(合併効果)</p> <p>・尾西、木曾川の下水道事業が特別会計から企業会計に移行することに伴う下水道事業出資金の増減を見込んでいます。</p>	<p>過去の実績額をもとに一定額で推計しています。</p> <p>(合併効果)</p> <p>尾西、木曾川の下水道事業が特別会計から企業会計に移行することに伴う増額を見込んでいます。</p>
<p>貸付金</p>	<p>・過去の実績等により見込んでいます。</p> <p>(合併効果)</p> <p>・過去の実績等により見込んでいます。</p>	<p>過去の実績額をもとに一定額で推計しています。</p> <p>平成13・14年度の決算額をもとに、平成21年度まで国保・介護会計について5.0%、老健について2.0%増、平成22年度以降横ばいで推計しています。</p>
<p>繰出金</p>	<p>(合併効果)</p> <p>・事務事業の調整方針案に基づき見込むとともに、尾西、木曾川の下水道事業が特別会計から企業会計に移行することに伴う下水道事業繰出金の減額を見込んでいます。</p>	<p>(合併効果)</p> <p>事務事業の調整方針案に伴う増減分及び尾西、木曾川の下水道事業が特別会計から企業会計に移行することに伴う減額を見込んでいます。</p>

(3) 合併した場合の10年間での効果・影響について

【合併した場合と合併しなかった場合の歳入・歳出の比較】(合併後10年間(平成17~26年度)) 単位:百万円

		合併した場合 新市全体①	合併しない場合 2市1町計②	合併効果・影響 ①-②
歳入	地方税	425,850	418,310	7,540
	地方交付税	95,369	79,379	15,990
	国・県支出金	102,854	100,903	1,951
	市債	131,066	109,269	21,797
	その他収入	155,020	154,990	30
	計	910,159	862,851	47,308
歳出	人件費	178,275	189,738	△ 11,463
	物件費	151,308	147,617	3,691
	扶助費	124,532	120,609	3,923
	補助費等	112,298	107,929	4,369
	普通建設事業費	136,067	111,908	24,159
	公債費	93,672	87,641	6,031
	その他経費	109,880	113,000	△ 3,120
	計	906,032	878,442	27,590
歳入-歳出	4,127 (約 41億円)	△ 15,591 (約 △ 156億円)	19,718 (約 197億円)	

主な効果・影響

歳入		単位:百万円
地方税(事業所税等)	平成22年度から事業所税を課税することによる歳入増等	7,540
地方交付税		
普通交付税	(合併直後の臨時的経費に対する財政措置(合併補正)) (合併後5年間)	2,390
特別交付税	(合併市町村に対する財政措置) (合併後3年間)	945
市町村合併補助金(国)	(合併後3年間)	660
合併特例交付金(県)	(合併後3年以内に事業着手 事業着手後5年間)	600
歳入計		12,135
歳出		
人件費	特別職、議会議員等の減員と、類似団体を参考に10年間で一般職職員の退職者を70~10%不補充とすることによる一般職職員の削減(333人)による効果 (別途中核市移行にともない平成21年度から保健所職員など70人増員)※	△ 11,463
物件費	合併にともなう合理化による節減効果	△ 1,795
歳出計		△ 13,258
その他		
普通交付税額の算定の特例(合併算定替)	(合併後15年間)	7,927
中核市移行にともなう基準財政需要額		13,776
合併関連事業	合併特例債の発行等を活用し、新しいまちづくりのための合併関連事業を展開することができます。	25,309
合併市町村振興基金	合併後の市町村の振興のための基金造成に対する財政措置	4,000

※平成21年度に中核市に移行すると仮定しています。

合併関連事業等について

事業名	事業予定位置	事業費 (百万円)	事業期間																			
			H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26										
学校施設改修（耐震）事業	全域	4,500																				
文化会館建設事業	木曽川	2,910																				
木曽川河川敷公園整備事業	尾西	1,372																				
防災関係機関連携（防災無線）強化事業	全域	540																				
幹線道路網整備事業（福塚（今伊勢・北方）線等）	一宮・木曽川	1,480																				
総合体育館建設事業	一宮	8,000																				
河川等水位監視システム整備事業	尾西・木曽川	103																				
粗大ゴミ処理施設建設事業	一宮	3,627																				
親水の林・ツ・クワエ-ジョン施設建設事業	木曽川	1,000																				
斎場整備事業	一宮	947																				
最終処分場整備事業	一宮	727																				
消防署改修（耐震）事業	一宮	103																				
計		25,309																				

合併市町村振興基金	全域	4,000																				
-----------	----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

合併した場合

市町名 新市

(単位: 百万円)

※この財政推計は、普通会計ベースで推計しています。

歳入	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
1 地方税	41,927	41,194	41,645	42,125	41,402	43,484	43,832	43,013	43,415	43,813	425,850
2 地方譲与税	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	12,430
3 利子割交付金	484	484	484	484	484	484	484	484	484	484	4,840
4 地方消費税交付金	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	31,850
5 自動車取得税交付金	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	12,550
6 地方特例交付金	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	16,520
7 地方交付税	9,908	9,399	8,982	8,492	10,803	9,230	9,424	9,602	9,687	9,842	95,369
8 交通安全対策特別交付金	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71	710
9 分担金及び負担金	674	680	685	690	690	690	690	690	690	690	6,869
10 使用料及び手数料	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	28,540
11 国庫支出金	7,179	7,527	8,091	7,985	7,163	7,433	7,199	7,073	7,073	7,073	73,796
12 県支出金	3,457	3,579	3,582	3,585	2,554	2,554	2,445	2,434	2,434	2,434	29,058
13 財産収入	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	610
14 寄付金	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	20
15 繰入金	63	63	390	607	63	63	63	63	63	63	1,501
16 繰越金	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	16,400
17 繰入金	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	22,180
18 市債	15,580	11,961	15,421	14,519	12,110	14,105	12,436	12,125	11,476	11,333	131,066
歳入計	93,453	89,068	93,461	92,668	89,450	92,224	90,754	89,665	89,503	89,913	910,159

歳出	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
1 人件費	18,410	18,545	18,472	17,929	18,008	17,329	18,028	17,358	17,425	16,771	178,275
2 物件費	15,037	14,779	14,923	14,972	15,207	15,132	15,204	15,278	15,351	15,425	151,308
3 維持補修費	1,251	1,263	1,276	1,289	1,302	1,308	1,314	1,320	1,326	1,332	12,981
4 扶助費	12,082	12,180	12,250	12,351	12,453	12,600	12,619	12,639	12,664	12,694	124,532
5 補助費等	10,751	10,865	10,986	11,104	11,235	11,312	11,395	11,474	11,552	11,624	112,298
6 普通建設事業費	15,036	14,505	17,530	16,435	11,906	14,600	12,328	11,813	11,032	10,882	136,067
7 災害復旧費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 失業対策事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9 公債費	8,382	8,546	8,725	9,057	9,838	9,855	9,611	9,778	9,660	10,220	93,672
10 積立金	4,058	58	58	58	58	58	58	58	58	58	4,580
11 投資及び出資金	531	547	548	654	624	624	624	624	624	624	6,024
12 貸付金	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	14,800
13 繰入金	6,644	6,844	7,099	7,354	7,259	7,259	7,259	7,259	7,259	7,259	71,495
14 前年度繰上充入金・予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歳出計	93,662	89,612	93,347	92,683	89,370	91,557	89,920	89,081	88,431	88,369	906,032

歳入一歳出	△ 209	△ 544	114	△ 15	80	667	834	584	1,072	1,544	4,127
歳入一歳出	△ 209	△ 544	114	△ 15	80	667	834	584	1,072	1,544	4,127

合併しなかった場合 市町名 2市1町単独単純合算

※この財政推計は、普通会計ベースで推計しています。

(単位:百万円)

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
歳入	41,972	41,239	41,690	42,170	41,447	41,922	42,303	41,466	41,851	42,250	418,310
1 地方税	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	12,430
2 地方譲与税	484	484	484	484	484	484	484	484	484	484	4,840
3 利子割交付金	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	31,850
4 地方消費税交付金	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	12,550
5 自動車取得税交付金	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	16,520
6 地方特例交付金	8,957	8,599	8,256	7,925	7,607	7,607	7,607	7,607	7,607	7,607	79,379
7 地方交付税	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71	710
8 交通安全対策特別交付金	696	696	696	696	696	696	696	696	696	696	6,960
9 分担金及び負担金	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	28,540
10 使用料及び手数料	6,458	6,808	6,837	6,561	6,567	6,567	6,567	6,567	6,567	6,567	66,066
11 国庫支出金	3,475	3,477	3,480	3,483	3,487	3,487	3,487	3,487	3,487	3,487	34,837
12 県支出金	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	610
13 財産収入	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	20
14 寄付金	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	630
15 繰入金	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	16,400
16 繰越金	2,293	2,293	2,293	2,293	2,293	2,293	2,293	2,293	2,293	2,293	22,930
17 諸収入	10,298	10,556	11,171	10,992	10,951	10,951	10,951	10,951	10,951	10,951	109,269
18 市債	86,659	86,178	87,479	86,630	85,558	86,033	86,414	85,577	85,962	86,361	862,851

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
歳出	18,489	18,903	19,246	19,079	19,111	18,540	19,490	18,997	19,218	18,665	189,738
1 人件費	14,218	14,360	14,504	14,649	14,795	14,869	14,943	15,018	15,093	15,168	147,617
2 物件費	1,251	1,263	1,276	1,289	1,302	1,308	1,314	1,320	1,326	1,332	12,981
3 維持補修費	11,664	11,758	11,855	11,954	12,058	12,210	12,233	12,260	12,291	12,326	120,609
4 扶助費	10,396	10,499	10,604	10,711	10,819	10,872	10,926	10,980	11,034	11,088	107,929
5 補助費等	13,179	12,670	12,542	11,135	10,397	10,397	10,397	10,397	10,397	10,397	111,908
6 普通建設事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7 災害復旧費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 失業対策事業費	8,382	8,496	8,652	8,947	9,290	9,209	8,719	8,665	8,460	8,821	87,641
9 公債費	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	580
10 積立金	402	402	402	402	402	402	402	402	402	402	4,020
11 投資及びひ出資金	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	14,800
12 貸付金	7,140	7,408	7,800	8,081	8,365	8,365	8,365	8,365	8,365	8,365	80,619
13 繰出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14 前年度繰上充入金・予備費	86,659	87,297	88,419	87,785	88,077	87,710	88,327	87,942	88,124	88,102	878,442
歳出計	18,489	18,903	19,246	19,079	19,111	18,540	19,490	18,997	19,218	18,665	189,738

歳入一歳出	0	△ 1,119	△ 940	△ 1,155	△ 2,519	△ 1,677	△ 1,913	△ 2,365	△ 2,162	△ 1,741	△ 15,591
-------	---	---------	-------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	----------

合併しなかった場合

市町名 一宮市

(単位:百万円)

※この財政推計は、普通会計ベースで推計しています。

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
歳入											
1 地方税	31,907	31,389	31,751	32,120	31,596	31,962	32,229	31,589	31,855	32,131	318,529
2 地方譲与税	930	930	930	930	930	930	930	930	930	930	9,300
3 利子割交付金	391	391	391	391	391	391	391	391	391	391	3,910
4 地方消費税交付金	2,429	2,429	2,429	2,429	2,429	2,429	2,429	2,429	2,429	2,429	24,290
5 自動車取得税交付金	959	959	959	959	959	959	959	959	959	959	9,590
6 地方特例交付金	1,316	1,316	1,316	1,316	1,316	1,316	1,316	1,316	1,316	1,316	13,160
7 地方交付税	5,608	5,384	5,169	4,962	4,763	4,763	4,763	4,763	4,763	4,763	49,701
8 交通安全対策特別交付金	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	550
9 分担金及び負担金	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	6,500
10 使用料及び手数料	2,089	2,089	2,089	2,089	2,089	2,089	2,089	2,089	2,089	2,089	20,890
11 国庫支出金	4,952	5,230	4,906	4,983	5,070	5,070	5,070	5,070	5,070	5,070	50,491
12 県支出金	2,601	2,603	2,606	2,609	2,613	2,613	2,613	2,613	2,613	2,613	26,097
13 財産収入	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	490
14 寄付金	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
15 繰入金	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	480
16 繰越金	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	13,000
17 諸収入	1,563	1,563	1,563	1,563	1,563	1,563	1,563	1,563	1,563	1,563	15,630
18 市債	7,368	7,336	8,140	7,682	7,810	7,810	7,810	7,810	7,810	7,810	77,386
歳入計	64,216	63,722	64,352	64,136	63,632	63,998	64,265	63,625	63,891	64,167	640,004

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
歳出											
1 人件費	13,712	14,001	14,395	14,183	14,257	13,686	14,639	14,083	14,382	13,740	141,078
2 物件費	9,634	9,730	9,827	9,925	10,024	10,074	10,124	10,175	10,226	10,277	100,016
3 維持補修費	941	950	960	970	980	985	990	995	1,000	1,005	9,776
4 扶助費	9,337	9,414	9,494	9,577	9,662	9,788	9,809	9,834	9,862	9,894	96,671
5 補助費等	8,712	8,799	8,887	8,976	9,066	9,111	9,157	9,203	9,249	9,295	90,455
6 普通建設事業費	9,568	8,777	8,019	7,470	7,228	7,228	7,228	7,228	7,228	7,228	77,202
7 災害復旧費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 失業対策事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9 公債費	6,611	6,696	6,771	6,988	7,242	7,045	6,362	6,144	5,934	6,185	65,978
10 積立金	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	80
11 投資及び出資金	318	318	318	318	318	318	318	318	318	318	3,180
12 貸付金	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	11,340
13 繰出金	4,465	4,655	4,854	5,062	5,280	5,280	5,280	5,280	5,280	5,280	50,716
14 前年度繰上充入金・予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歳出計	64,440	64,482	64,667	64,611	65,199	64,657	65,049	64,402	64,621	64,364	646,492

	△ 224	△ 760	△ 315	△ 475	△ 1,567	△ 659	△ 784	△ 777	△ 730	△ 197	△ 6,488
歳入一歳出											

合併しなかった場合

市町名 尾西市

(単位:百万円)

※この財政推計は、普通会計ベースで推計しています。

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
歳入											
1 地方税	6,603	6,467	6,531	6,599	6,462	6,528	6,598	6,463	6,533	6,605	65,389
2 地方譲与税	213	213	213	213	213	213	213	213	213	213	2,130
3 利子割交付金	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	550
4 地方消費税交付金	509	509	509	509	509	509	509	509	509	509	5,090
5 自動車取得税交付金	203	203	203	203	203	203	203	203	203	203	2,030
6 地方特例交付金	220	220	220	220	220	220	220	220	220	220	2,200
7 地方交付税	2,379	2,284	2,193	2,105	2,021	2,021	2,021	2,021	2,021	2,021	21,087
8 交通安全対策特別交付金	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	110
9 分担金及び負担金	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	400
10 使用料及び手数料	584	584	584	584	584	584	584	584	584	584	5,840
11 国庫支出金	1,005	1,033	1,251	1,064	1,201	1,201	1,201	1,201	1,201	1,201	11,559
12 県支出金	548	548	548	548	548	548	548	548	548	548	5,480
13 財産収入	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	100
14 寄付金	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
15 繰入金	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	100
16 繰越金	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	3,000
17 諸収入	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	4,200
18 市債	1,974	2,024	2,262	2,100	2,262	2,262	2,262	2,262	2,262	2,262	21,932
歳入計	15,085	14,932	15,361	14,992	15,070	15,136	15,206	15,071	15,141	15,213	151,207

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
歳出											
1 人件費	3,181	3,306	3,255	3,300	3,258	3,258	3,255	3,318	3,240	3,329	32,700
2 物件費	2,529	2,554	2,580	2,606	2,632	2,645	2,658	2,671	2,684	2,697	26,256
3 維持補修費	271	274	277	280	283	284	285	286	287	288	2,815
4 扶助費	1,726	1,740	1,754	1,768	1,783	1,794	1,796	1,798	1,801	1,804	17,764
5 補助費等	837	845	853	862	871	875	879	883	887	891	8,683
6 普通建設事業費	2,487	2,440	2,810	2,294	2,495	2,495	2,495	2,495	2,495	2,495	25,001
7 災害復旧費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 失業対策事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9 公債費	1,604	1,502	1,533	1,580	1,630	1,692	1,758	1,841	1,792	1,847	16,779
10 積立金	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	100
11 投資及び出資金	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	640
12 貸付金	238	238	238	238	238	238	238	238	238	238	2,380
13 繰出金	1,848	1,921	2,032	2,077	2,178	2,178	2,178	2,178	2,178	2,178	20,946
14 前年度繰上充入金・予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歳出計	14,795	14,894	15,406	15,079	15,442	15,533	15,616	15,782	15,676	15,841	154,064

歳入一歳出	290	38	△ 45	△ 87	△ 372	△ 397	△ 410	△ 711	△ 535	△ 628	△ 2,857
-------	-----	----	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	---------

合併しなかった場合

市町名 木曽川町

(単位:百万円)

※この財政推計は、普通会計ベースで推計しています。

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
歳入	3,462	3,383	3,408	3,451	3,389	3,432	3,476	3,414	3,463	3,514	34,392
1 地方税	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	1,000
2 地方譲与税	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	380
3 利子割交付金	247	247	247	247	247	247	247	247	247	247	2,470
4 地方消費税交付金	93	93	93	93	93	93	93	93	93	93	930
5 自動車取得税交付金	116	116	116	116	116	116	116	116	116	116	1,160
6 地方特例交付金	970	931	894	858	823	823	823	823	823	823	8,591
7 地方交付税	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	50
8 交通安全対策特別交付金	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	60
9 分担金及び負担金	181	181	181	181	181	181	181	181	181	181	1,810
10 使用料及び手数料	501	545	680	514	296	296	296	296	296	296	4,016
11 国庫支出金	326	326	326	326	326	326	326	326	326	326	3,260
12 県支出金	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	20
13 財産収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14 寄付金	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	50
15 繰入金	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	400
16 繰越金	310	310	310	310	310	310	310	310	310	310	3,100
17 諸収入	956	1,196	1,315	1,210	879	879	879	879	879	879	9,951
18 町債	7,358	7,524	7,766	7,502	6,856	6,899	6,943	6,881	6,930	6,981	71,640
歳入計											

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
歳出	1,596	1,596	1,596	1,596	1,596	1,596	1,596	1,596	1,596	1,596	15,960
1 人件費	2,055	2,076	2,097	2,118	2,139	2,150	2,161	2,172	2,183	2,194	21,345
2 物件費	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	390
3 維持補修費	601	604	607	609	613	628	628	628	628	628	6,174
4 扶助費	847	855	864	873	882	886	890	894	898	902	8,791
5 補助費等	1,124	1,453	1,713	1,371	674	674	674	674	674	674	9,705
6 普通建設事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7 災害復旧費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 失業対策事業費	167	298	348	379	418	472	599	680	734	789	4,884
9 公債費	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	400
10 積立金	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	200
11 投資及び出資金	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	1,080
12 貸付金	827	832	914	942	907	907	907	907	907	907	8,957
13 繰出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14 前年度繰上充入金・予備費	7,424	7,921	8,346	8,095	7,436	7,520	7,662	7,758	7,827	7,897	77,886
歳出計											

	△ 66	△ 397	△ 580	△ 593	△ 580	△ 621	△ 719	△ 877	△ 897	△ 916	△ 6,246
歳入一歳出											

訂正後

平成 15 年 11 月 28 日資料に誤りがありましたので訂正します。
(訂正箇所：合併しなかった場合の市(町)債、公債費)

「新市建設計画策定に向けて」

協議附属資料

< 財 政 計 画 >

検討資料

**この資料は、現段階での協議結果及び事務局案に基づき
推計しております。**

**建設計画事業、事務事業の調整結果など合併協定項目の
協議結果によって変動します。**

推計基準

歳入

地方税	<ul style="list-style-type: none"> 過去の実績、人口推計等を勘案し算定しています。(合併効果) 不均一課税特例及び尾西市の法人市民税超過課税分については調整方針案に基づき増減額を見込んでいます。 また、事業所税については、事業所税の課税団体の指定の延期の特例(5年間の課税免除期間)を活用し、平成22年度から見込んでいます。
地方譲与税 利子割交付金 地方消費税交付金 自動車取得税交付金 地方特例交付金	過去の実績等により見込んでいます。
地方交付税	<ul style="list-style-type: none"> 普通交付税については、15年度制度に基づいた算定を基本に、過去の実績等により見込んでいます。(合併効果) 普通交付税の算定の特例(合併算定替)により算定し、合併特例債交付税措置を併せて見込んでいます。 特別交付税については、合併措置分を見込んでいます。 平成21年度に中核市に移行すると仮定し同年度から普通交付税需要額の増額を見込んでいます。
交通安全特別交付金	過去の実績等により見込んでいます。
分担金及び負担金 使用料 手数料	過去の実績等により見込んでいます。
国庫支出金 県支出金	<ul style="list-style-type: none"> 過去の実績及び人口推計等による影響を勘案し見込んでいます。(合併効果) 事務事業の調整等及び建設計画主要事業に係る財源の増減及び合併に係る財政支援(合併市町村補助金・県合併特例交付金)を見込んでいます。
財産収入 寄付金 繰入金 繰越金 諸収入	過去の実績等により見込んでいます。
市債	<ul style="list-style-type: none"> 各市町の通常実施事業に見合った記載額を見込んでいます。 現行制度に基づく減税補てん債及び臨時財政対策債借入額を見込んでいます。(合併効果) 建設計画主要事業の財源として合併特例債及び通常債を見込んでいます。 なお、地方債の借入れについては後年度の償還負担を勘案し、必要最小限の借入にとどめています。

歳出

人件費	<ul style="list-style-type: none"> 現在の各市町の定員管理計画等による定数に基づき、各市町の給与、報酬を基本に見込んでいます。(合併効果) 類似団体等を参考に退職者の補充を抑制することにより、一般職職員の削減を見込んでいます。 特別職、議会議員の減員を見込んでいます。
物件費・維持補修費	<ul style="list-style-type: none"> 過去の実績等により見込んでいます。(合併効果) 建設計画事業に伴う経費、合併直後の臨時的経費及び事務事業の調整方針案に基づき見込むとともに、合併による事務経費の削減効果を見込んでいます。
扶助費	<ul style="list-style-type: none"> 過去の実績、人口推計等を勘案し見込んでいます。(合併効果) 事務事業の調整方針案に伴う増減分を見込んでいます。
補助費等	<ul style="list-style-type: none"> 過去の実績等により見込んでいます。(合併効果) 事務事業の調整方針案に基づき見込むとともに、尾西、木曽川の下水道事業が特別会計から企業会計に移行することに伴う下水道事業補助金の増額を見込んでいます。
普通建設事業費	<ul style="list-style-type: none"> 各市町の既存の計画に基づく事業量を見込んでいます。(合併効果) 建設計画の主要事業に係る経費を見込んでいます。
公債費	<ul style="list-style-type: none"> 2市1町の既借入債の元利償還金を見込んでいます。(合併効果) 建設計画主要事業に係る合併特例債や新規発行の通常債の元利償還金を見込んでいます。
積立金	<ul style="list-style-type: none"> 過去の実績等により財政調整基金等への積立を見込んでいます。(合併効果) 合併市町村の地域振興を目的とする「合併市町村振興基金」の積立を見込んでいます。
投資及び出資金	<ul style="list-style-type: none"> 過去の実績等により見込んでいます。(合併効果) 尾西、木曽川の下水道事業が特別会計から企業会計に移行することに伴う下水道事業出資金の増額を見込んでいます。
貸付金	過去の実績等により見込んでいます。
繰出金	<ul style="list-style-type: none"> 過去の実績等により見込んでいます。(合併効果) 事務事業の調整方針案に基づき見込むとともに、尾西、木曽川の下水道事業が特別会計から企業会計に移行することに伴う下水道事業繰出金の減額を見込んでいます。

合併した場合の10年間の効果・影響について

歳入		単位:百万円
地方税(事業所税等)		7,540
平成22年度から事業所税を課税することによる歳入増等		
地方交付税		
普通交付税 (合併直後の臨時的経費に対する財政措置(合併補正))	(合併後5年間)	2,390
合併後における行政の一体化(基本構想等の策定・改定、ネットワークの整備等)に要する経費等に対する措置		
特別交付税 (合併市町村に対する財政措置)	(合併後3年間)	945
合併を機に行われる新しいまちづくり、合併関係市町村間の公共料金格差調整、公債費負担格差の是正や土地開発公社の経営健全化等についての需要に的確に対応するために包括的に措置。		
市町村合併補助金(国)	(合併後3年間)	660
市町村建設計画に基づく事業に対し、合併関係市町村の人口に応じ、1関係市町村あたり3カ年で6千万円～3億円の合算額を補助。		
合併特例交付金(県)	(合併後3年以内に事業着手 事業着手後5年間)	600
合併市町村の一体的なまちづくりのための事業等に対して財政的支援を行うことにより、合併市町村の一体的な発展と市町村合併の推進を図るための交付金。		
歳入計		12,135

歳出	
人件費	11,463
特別職、議会議員等の減員と、類似団体を参考に10年間で一般職職員の退職者を70～10%不補充とすることによる一般職職員の削減(333人)による効果 (別途中核市移行にともない平成21年度から保健所職員など70人増員)	
物件費	1,795
合併にともなう合理化による節減効果	
歳出計	13,258

その他	
普通交付税額の算定の特例(合併算定替)	(合併後15年間) 7,927
合併後10カ年度は、合併がなかったものと仮定して毎年算定した普通交付税の額を保障。さらに5カ年度は激変緩和措置。	
中核市移行にともなう普通交付税需要額	13,776
中核市として事務権限が拡大するとともに、都市機能に見合うよう交付税需要額が増額される。なお、増額にともない補助金等の削減及び歳出(人件費、事業費等)が増額する。	
合併関連事業	25,309
合併特例債の発行等を活用し、新しいまちづくりのための合併関連事業を展開することができます。	
合併市町村振興基金	4,000
合併後の市町村の振興のための基金造成に対する財政措置	

平成21年度に中核市に移行すると仮定しています。

用語解説

歳入	
地方税	市(町)が独自で課税、徴収することができる税金です。 市民税、固定資産税、都市計画税などがあります。
地方交付税	(普通交付税) 市(町)が標準的な水準の行政事務を行うために必要な経費(基準財政需要額)のうち、地方税等の収入見込額(基準財政収入額)で賄えない財源不足額を、国税の一定割合の額で公平に補てんされるものです。 (特別交付税) 普通交付税の算定に反映することのできなかった具体的な事情を考慮して交付されるものです。
国・県支出金	市(町)が行う行政サービスに必要なお金の一部あるいは全部について、国や県から市(町)に交付されるものです。
市(町)債	市(町)の長期にわたる借入金のことです。学校などの長期にわたって利用される施設の建設に必要な資金について、世代間の公平を図る観点から、地方債という形で調達しています。

歳出	
人件費	市長、議員等の特別職の報酬、一般職員の給料などの経費です。
物件費	臨時職員の賃金、市役所(町役場)・学校等の消耗品や光熱水費、備品購入費などに使われる経費です。
扶助費	社会保障制度の一環として、児童、老人、生活困窮者等を援助するための経費です。
普通建設事業費	道路や学校の建設など、将来、市(町)の財産となるものに支出される経費です。
公債費	市(町)の長期にわたる借入金(地方債)の元金の返済、利子の支払いに要する経費です。

その他	
合併特例債	合併後10カ年度、新市建設計画に基づく特に必要な事業の経費に充てることができる地方債です。(起債対象事業経費の概ね95%が該当、元利償還金の70%を普通交付税措置されます。)
合併市町村振興基金	旧市町村単位の地域振興、住民の一体感醸成のための基金です。 (合併特例債の対象となります。)

市町名 合併した場合

この財政推計は、普通会計ベースで推計しています。

(単位:百万円)

歳出	14(決算)	15(予算)	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	H17～36
1 人件費				18,410	18,545	18,472	17,929	18,008	17,329	18,028	17,358	17,425	16,771	16,851	16,675	16,605	16,741	17,110	16,739	16,552	16,722	16,510	16,232	345,012
2 物件費				15,037	14,779	14,923	14,972	15,207	15,132	15,204	15,278	15,351	15,425	15,318	15,362	15,407	15,451	15,496	15,371	15,400	15,428	15,458	15,488	305,487
3 維持補修費				1,251	1,263	1,276	1,289	1,302	1,308	1,314	1,320	1,326	1,332	1,336	1,340	1,344	1,348	1,352	1,355	1,358	1,361	1,364	1,367	26,506
4 扶助費				12,082	12,180	12,250	12,351	12,453	12,600	12,619	12,639	12,664	12,694	12,750	12,731	12,716	12,702	12,689	12,625	12,587	12,550	12,515	12,482	250,879
5 補助費等				10,751	10,865	10,986	11,104	11,235	11,312	11,395	11,474	11,552	11,624	11,624	11,624	11,624	11,624	11,624	11,624	11,624	11,624	11,624	11,624	228,538
6 普通建設事業費				15,036	14,505	17,530	16,435	11,906	14,600	12,328	11,813	11,032	10,882	10,282	10,282	10,282	10,282	10,282	10,017	9,760	9,511	9,269	9,035	235,069
7 災害復旧費				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 失業対策事業費				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9 公債費				8,382	8,546	8,725	9,057	9,838	9,855	9,611	9,778	9,660	10,220	10,048	10,628	11,341	11,534	11,993	12,600	13,098	13,651	14,071	14,019	216,655
10 積立金				4,058	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	5,160
11 投資及び出資金				531	547	548	654	624	624	624	624	624	624	624	624	624	624	624	624	624	624	624	624	12,264
12 貸付金				1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	29,600
13 繰出金				6,644	6,844	7,099	7,354	7,259	7,259	7,259	7,259	7,259	7,259	7,259	7,259	7,259	7,259	7,259	7,259	7,259	7,259	7,259	7,259	144,085
14 前年度繰上充用金・予備費				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歳出計				93,662	89,612	93,347	92,683	89,370	91,557	89,920	89,081	88,431	88,369	87,630	88,063	88,740	89,103	89,967	89,752	89,800	90,268	90,232	89,668	1,799,255

歳入	14(決算)	15(予算)	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	H17～36	
1 地方税				41,927	41,194	41,645	42,125	41,402	43,484	43,832	43,013	43,415	43,813	43,004	43,464	43,940	43,161	43,628	44,114	43,325	43,805	44,295	43,496	862,082	
2 地方譲与税				1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	24,860	
3 利子割交付金				484	484	484	484	484	484	484	484	484	484	484	484	484	484	484	484	484	484	484	484	9,680	
4 地方消費税交付金				3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	63,700	
5 自動車取得税交付金				1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	25,100	
6 地方特例交付金				1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	33,040	
7 地方交付税				9,908	9,399	8,982	8,492	10,803	9,230	9,424	9,602	9,687	9,842	9,862	9,812	9,740	9,662	9,541	9,481	9,481	9,481	9,481	9,481	9,481	191,391
8 交通安全対策特別交付金				71	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71	1,420	
9 分担金及び負担金				674	680	685	690	690	690	690	690	690	690	690	690	690	690	690	690	690	690	690	690	13,769	
10 使用料及び手数料				2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	57,080	
11 国庫支出金				7,179	7,527	8,091	7,985	7,163	7,433	7,199	7,073	7,073	7,073	6,893	6,893	6,893	6,893	6,893	6,893	6,893	6,893	6,893	6,893	6,893	142,726
12 県支出金				3,457	3,579	3,582	3,585	2,554	2,554	2,445	2,434	2,434	2,434	2,434	2,434	2,434	2,434	2,434	2,434	2,434	2,434	2,434	2,434	53,398	
13 財産収入				61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	1,220	
14 寄付金				2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	40	
15 繰入金				63	63	390	607	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	2,131	
16 繰越金				1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	32,800	
17 諸収入				2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	2,218	44,360	
18 市債				15,580	11,961	15,421	14,519	12,110	14,105	12,436	12,125	11,476	11,333	10,951	10,951	10,951	10,951	10,951	10,951	10,951	10,951	10,951	10,951	240,576	
歳入計				93,453	89,068	93,461	92,668	89,450	92,224	90,754	89,665	89,503	89,913	88,562	88,972	89,376	88,519	88,865	89,291	88,502	88,982	89,472	88,673	1,799,373	
歳出計				93,662	89,612	93,347	92,683	89,370	91,557	89,920	89,081	88,431	88,369	87,630	88,063	88,740	89,103	89,967	89,752	89,800	90,268	90,232	89,668	1,799,255	
歳入 - 歳出				209	544	114	15	80	667	834	584	1,072	1,544	932	909	636	584	1,102	461	1,298	1,286	760	995	118	

市町名 2市1町単独単純合算

この財政推計は、普通会計ベースで推計しています。

(単位:百万円)

歳出	14(決算)	15(予算)	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	H17～36
1 人件費	20,514	20,135	19,647	18,489	18,903	19,246	19,079	19,111	18,540	19,490	18,997	19,218	18,665	18,931	18,517	18,533	18,763	19,071	18,791	18,598	18,815	18,588	18,237	376,582
2 物件費	13,801	15,130	14,078	14,218	14,360	14,504	14,649	14,795	14,869	14,943	15,018	15,093	15,168	15,214	15,260	15,306	15,352	15,398	15,428	15,458	15,488	15,519	15,550	301,590
3 維持補修費	1,215	1,229	1,239	1,251	1,263	1,276	1,289	1,302	1,308	1,314	1,320	1,326	1,332	1,336	1,340	1,344	1,348	1,352	1,355	1,358	1,361	1,364	1,367	26,506
4 扶助費	10,515	11,468	11,444	11,664	11,758	11,855	11,954	12,058	12,210	12,233	12,260	12,291	12,326	12,385	12,369	12,357	12,346	12,337	12,276	12,241	12,207	12,175	12,145	243,447
5 補助費等	10,091	10,337	10,294	10,396	10,499	10,604	10,711	10,819	10,872	10,926	10,980	11,034	11,088	11,088	11,088	11,088	11,088	11,088	11,088	11,088	11,088	11,088	11,088	218,809
6 普通建設事業費	14,789	15,856	12,954	13,179	12,670	12,542	11,135	10,397	10,397	10,397	10,397	10,397	10,397	10,397	10,397	10,397	10,397	10,397	10,397	10,397	10,397	10,397	10,397	215,878
7 災害復旧費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 失業対策事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9 公債費	9,179	9,008	8,703	8,382	8,496	8,652	8,947	9,290	9,209	8,719	8,665	8,460	8,821	8,540	9,035	9,705	9,864	10,323	10,930	11,428	11,981	12,401	12,349	194,197
10 積立金	522	71	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	1,160
11 投資及び出資金	499	1,565	738	402	402	402	402	402	402	402	402	402	402	402	402	402	402	402	402	402	402	402	402	8,040
12 貸付金	1,480	1,368	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	29,600
13 繰出金	6,263	7,058	6,857	7,140	7,408	7,800	8,081	8,365	8,365	8,365	8,365	8,365	8,365	8,365	8,365	8,365	8,365	8,365	8,365	8,365	8,365	8,365	8,365	164,269
14 前年度繰上充用金・予備費	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歳出計	88,868	93,238	87,492	86,659	87,297	88,419	87,785	88,077	87,710	88,327	87,942	88,124	88,102	88,196	88,311	89,035	89,463	90,271	90,570	90,873	91,642	91,837	91,438	1,780,078

歳入	14(決算)	15(予算)	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	H17～36
1 地方税	42,682	40,559	41,585	41,972	41,239	41,690	42,170	41,447	41,922	42,303	41,466	41,851	42,250	41,448	41,914	42,395	41,621	42,099	42,589	41,804	42,286	42,779	41,981	839,226
2 地方譲与税	1,173	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	24,860
3 利子割交付金	584	383	484	484	484	484	484	484	484	484	484	484	484	484	484	484	484	484	484	484	484	484	484	9,680
4 地方消費税交付金	2,867	3,018	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	3,185	63,700
5 自動車取得税交付金	1,205	1,179	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255	25,100
6 地方特例交付金	1,670	1,621	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	33,040
7 地方交付税	11,737	9,718	9,330	8,957	8,599	8,256	7,925	7,607	7,607	7,607	7,607	7,607	7,607	7,607	7,607	7,607	7,607	7,607	7,607	7,607	7,607	7,607	7,607	155,449
8 交通安全対策特別交付金	71	69	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71	1,420
9 分担金及び負担金	760	760	696	696	696	696	696	696	696	696	696	696	696	696	696	696	696	696	696	696	696	696	696	13,920
10 使用料及び手数料	2,864	2,808	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	2,854	57,080
11 国庫支出金	6,308	6,914	6,218	6,458	6,808	6,837	6,561	6,567	6,567	6,567	6,567	6,567	6,567	6,567	6,567	6,567	6,567	6,567	6,567	6,567	6,567	6,567	6,567	131,736
12 県支出金	3,941	3,994	3,473	3,475	3,477	3,480	3,483	3,487	3,487	3,487	3,487	3,487	3,487	3,487	3,487	3,487	3,487	3,487	3,487	3,487	3,487	3,487	3,487	69,707
13 財産収入	356	190	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	1,220
14 寄付金	13	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	40
15 繰入金	1,890	5,142	393	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	1,260
16 繰越金	3,232	1,814	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	32,800
17 諸収入	2,655	2,580	2,293	2,293	2,293	2,293	2,293	2,293	2,293	2,293	2,293	2,293	2,293	2,293	2,293	2,293	2,293	2,293	2,293	2,293	2,293	2,293	2,293	45,860
18 市債	7,093	11,242	9,777	10,298	10,556	11,717	10,992	10,951	10,951	10,951	10,951	10,951	10,951	10,951	10,951	10,951	10,951	10,951	10,951	10,951	10,951	10,951	10,951	218,779
歳入計	91,101	93,238	86,212	86,659	86,178	87,479	86,630	85,558	86,033	86,414	85,577	85,962	86,361	85,559	86,025	86,506	85,732	86,210	86,700	85,915	86,397	86,890	86,092	1,724,877
歳出計	88,868	93,238	87,492	86,659	87,297	88,419	87,785	88,077	87,710	88,327	87,942	88,124	88,102	88,196	88,311	89,035	89,463	90,271	90,570	90,873	91,642	91,837	91,438	1,780,078
歳入一歳出	2,233	0	1,280	0	1,119	940	1,155	2,519	1,677	1,913	2,365	2,162	1,741	2,637	2,286	2,529	3,731	4,061	3,870	4,958	5,245	4,947	5,346	55,201

(単位:百万円)

歳出	14(決算)	15(予算)	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	H17～36
1 人件費	15,149	14,808	14,721	13,712	14,001	14,395	14,183	14,257	13,686	14,639	14,083	14,382	13,740	13,865	13,692	13,715	14,035	14,184	14,092	13,923	14,104	13,880	13,538	280,106
2 物件費	9,351	9,986	9,539	9,634	9,730	9,827	9,925	10,024	10,074	10,124	10,175	10,226	10,277	10,308	10,339	10,370	10,401	10,432	10,453	10,474	10,495	10,516	10,537	204,341
3 維持補修費	914	788	932	941	950	960	970	980	985	990	995	1,000	1,005	1,008	1,011	1,014	1,017	1,020	1,022	1,024	1,026	1,028	1,030	19,976
4 扶助費	8,437	9,303	9,166	9,337	9,414	9,494	9,577	9,662	9,788	9,809	9,834	9,862	9,894	9,967	9,954	9,944	9,936	9,929	9,895	9,867	9,840	9,815	9,792	195,610
5 補助費等	8,456	8,492	8,626	8,712	8,799	8,887	8,976	9,066	9,111	9,157	9,203	9,249	9,295	9,295	9,295	9,295	9,295	9,295	9,295	9,295	9,295	9,295	9,295	183,405
6 普通建設事業費	11,339	11,361	9,712	9,568	8,777	8,019	7,470	7,228	7,228	7,228	7,228	7,228	7,228	7,228	7,228	7,228	7,228	7,228	7,228	7,228	7,228	7,228	7,228	149,482
7 災害復旧費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 失業対策事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9 公債費	7,322	7,029	6,833	6,611	6,696	6,771	6,988	7,242	7,045	6,362	6,144	5,934	6,185	5,900	6,249	6,650	6,913	7,270	7,721	8,093	8,474	8,772	8,699	140,719
10 積立金	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	160
11 投資及び出資金	418	755	418	318	318	318	318	318	318	318	318	318	318	318	318	318	318	318	318	318	318	318	318	6,360
12 貸付金	1,134	1,027	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	22,680
13 繰出金	3,944	4,337	4,284	4,465	4,655	4,854	5,062	5,280	5,280	5,280	5,280	5,280	5,280	5,280	5,280	5,280	5,280	5,280	5,280	5,280	5,280	5,280	5,280	103,516
14 前年度繰上充用金・予備費	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歳出計	66,472	67,904	65,373	64,440	64,482	64,667	64,611	65,199	64,657	65,049	64,402	64,621	64,364	64,311	64,508	64,956	65,565	66,098	66,446	66,644	67,202	67,274	66,859	1,306,355

歳入	14(決算)	15(予算)	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	H17～36
1 地方税	32,520	30,812	31,610	31,907	31,389	31,751	32,120	31,596	31,962	32,229	31,589	31,855	32,131	31,520	31,857	32,203	31,618	31,963	32,320	31,726	32,075	32,431	31,829	638,071
2 地方譲与税	890	930	930	930	930	930	930	930	930	930	930	930	930	930	930	930	930	930	930	930	930	930	930	18,600
3 利子割交付金	456	300	391	391	391	391	391	391	391	391	391	391	391	391	391	391	391	391	391	391	391	391	391	7,820
4 地方消費税交付金	2,187	2,300	2,429	2,429	2,429	2,429	2,429	2,429	2,429	2,429	2,429	2,429	2,429	2,429	2,429	2,429	2,429	2,429	2,429	2,429	2,429	2,429	2,429	48,580
5 自動車取得税交付金	914	900	959	959	959	959	959	959	959	959	959	959	959	959	959	959	959	959	959	959	959	959	959	19,180
6 地方特例交付金	1,335	1,288	1,316	1,316	1,316	1,316	1,316	1,316	1,316	1,316	1,316	1,316	1,316	1,316	1,316	1,316	1,316	1,316	1,316	1,316	1,316	1,316	1,316	26,320
7 地方交付税	7,357	6,085	5,842	5,608	5,384	5,169	4,962	4,763	4,763	4,763	4,763	4,763	4,763	4,763	4,763	4,763	4,763	4,763	4,763	4,763	4,763	4,763	4,763	97,331
8 交通安全対策特別交付金	55	54	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	1,100
9 分担金及び負担金	709	721	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	13,000
10 使用料及び手数料	2,084	2,021	2,089	2,089	2,089	2,089	2,089	2,089	2,089	2,089	2,089	2,089	2,089	2,089	2,089	2,089	2,089	2,089	2,089	2,089	2,089	2,089	2,089	41,780
11 国庫支出金	5,095	5,540	4,956	4,952	5,230	4,906	4,983	5,070	5,070	5,070	5,070	5,070	5,070	5,070	5,070	5,070	5,070	5,070	5,070	5,070	5,070	5,070	5,070	101,191
12 県支出金	2,997	3,009	2,599	2,601	2,603	2,606	2,609	2,613	2,613	2,613	2,613	2,613	2,613	2,613	2,613	2,613	2,613	2,613	2,613	2,613	2,613	2,613	2,613	52,227
13 財産収入	277	47	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	980
14 寄付金	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	20
15 繰入金	1,275	3,027	148	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	960
16 繰越金	2,279	951	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	26,000
17 諸収入	1,846	1,467	1,563	1,563	1,563	1,563	1,563	1,563	1,563	1,563	1,563	1,563	1,563	1,563	1,563	1,563	1,563	1,563	1,563	1,563	1,563	1,563	1,563	31,260
18 市債	5,446	8,451	7,126	7,368	7,336	8,140	7,682	7,810	7,810	7,810	7,810	7,810	7,810	7,810	7,810	7,810	7,810	7,810	7,810	7,810	7,810	7,810	7,810	155,486
歳入計	67,723	67,904	64,013	64,216	63,722	64,352	64,136	63,632	63,998	64,265	63,625	63,891	64,167	63,556	63,893	64,239	63,654	63,999	64,356	63,762	64,111	64,467	63,865	1,279,906
歳出計	66,472	67,904	65,373	64,440	64,482	64,667	64,611	65,199	64,657	65,049	64,402	64,621	64,364	64,311	64,508	64,956	65,565	66,098	66,446	66,644	67,202	67,274	66,859	1,306,355
歳入一歳出	1,251	0	1,360	224	760	315	475	1,567	659	784	777	730	197	755	615	717	1,911	2,099	2,090	2,882	3,091	2,807	2,994	26,449

(単位:百万円)

歳出	14(決算)	15(予算)	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	H17～36	
1 人件費	3,586	3,487	3,330	3,181	3,306	3,255	3,300	3,258	3,258	3,255	3,318	3,240	3,329	3,470	3,229	3,222	3,132	3,291	3,103	3,079	3,115	3,112	3,103	64,556	
2 物件費	2,455	2,934	2,504	2,529	2,554	2,580	2,606	2,632	2,645	2,658	2,671	2,684	2,697	2,705	2,713	2,721	2,729	2,737	2,742	2,747	2,752	2,758	2,764	53,624	
3 維持補修費	263	394	268	271	274	277	280	283	284	285	286	287	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	5,750	
4 扶助費	1,510	1,719	1,705	1,726	1,740	1,754	1,768	1,783	1,794	1,796	1,798	1,801	1,804	1,802	1,799	1,797	1,794	1,792	1,785	1,778	1,771	1,764	1,757	35,603	
5 補助費等	813	940	829	837	845	853	862	871	875	879	883	887	891	891	891	891	891	891	891	891	891	891	891	891	17,593
6 普通建設事業費	2,738	3,393	2,568	2,487	2,440	2,810	2,294	2,495	2,495	2,495	2,495	2,495	2,495	2,495	2,495	2,495	2,495	2,495	2,495	2,495	2,495	2,495	2,495	49,951	
7 災害復旧費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
8 失業対策事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
9 公債費	1,552	1,664	1,573	1,604	1,502	1,533	1,580	1,630	1,692	1,758	1,841	1,792	1,847	1,794	1,885	2,110	1,958	2,013	2,126	2,244	2,370	2,458	2,478	38,215	
10 積立金	301	41	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	200
11 投資及び出資金	61	776	300	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	1,280
12 貸付金	238	233	238	238	238	238	238	238	238	238	238	238	238	238	238	238	238	238	238	238	238	238	238	238	4,760
13 繰出金	1,444	1,748	1,742	1,848	1,921	2,032	2,077	2,178	2,178	2,178	2,178	2,178	2,178	2,178	2,178	2,178	2,178	2,178	2,178	2,178	2,178	2,178	2,178	2,178	42,726
14 前年度繰上充用金・予備費	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
歳出計	14,961	17,332	15,067	14,795	14,894	15,406	15,079	15,442	15,533	15,616	15,782	15,676	15,841	15,936	15,792	16,017	15,781	16,002	15,926	16,019	16,180	16,265	16,276	314,258	

歳入	14(決算)	15(予算)	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	H17～36	
1 地方税	6,648	6,444	6,537	6,603	6,467	6,531	6,599	6,462	6,528	6,598	6,463	6,533	6,605	6,470	6,548	6,630	6,498	6,579	6,659	6,526	6,606	6,689	6,552	131,146	
2 地方譲与税	189	213	213	213	213	213	213	213	213	213	213	213	213	213	213	213	213	213	213	213	213	213	213	213	4,260
3 利子割交付金	82	45	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	1,100
4 地方消費税交付金	455	480	509	509	509	509	509	509	509	509	509	509	509	509	509	509	509	509	509	509	509	509	509	509	10,180
5 自動車取得税交付金	195	186	203	203	203	203	203	203	203	203	203	203	203	203	203	203	203	203	203	203	203	203	203	203	4,060
6 地方特例交付金	217	218	220	220	220	220	220	220	220	220	220	220	220	220	220	220	220	220	220	220	220	220	220	220	4,400
7 地方交付税	3,036	2,581	2,478	2,379	2,284	2,193	2,105	2,021	2,021	2,021	2,021	2,021	2,021	2,021	2,021	2,021	2,021	2,021	2,021	2,021	2,021	2,021	2,021	2,021	41,297
8 交通安全対策特別交付金	11	10	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	220
9 分担金及び負担金	45	32	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	800
10 使用料及び手数料	590	591	584	584	584	584	584	584	584	584	584	584	584	584	584	584	584	584	584	584	584	584	584	584	11,680
11 国庫支出金	954	1,057	991	1,005	1,033	1,251	1,064	1,201	1,201	1,201	1,201	1,201	1,201	1,201	1,201	1,201	1,201	1,201	1,201	1,201	1,201	1,201	1,201	1,201	23,569
12 県支出金	586	603	548	548	548	548	548	548	548	548	548	548	548	548	548	548	548	548	548	548	548	548	548	548	10,960
13 財産収入	71	142	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	200
14 寄付金	12	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	20
15 繰入金	183	1,605	240	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	200
16 繰越金	716	760	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	6,000
17 諸収入	474	444	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	8,400
18 市債	1,269	1,918	1,905	1,974	2,024	2,262	2,100	2,262	2,262	2,262	2,262	2,262	2,262	2,262	2,262	2,262	2,262	2,262	2,262	2,262	2,262	2,262	2,262	2,262	44,552
歳入計	15,733	17,332	15,265	15,085	14,932	15,361	14,992	15,070	15,136	15,206	15,071	15,141	15,213	15,078	15,156	15,238	15,106	15,187	15,267	15,134	15,214	15,297	15,160	303,044	
歳出計	14,961	17,332	15,067	14,795	14,894	15,406	15,079	15,442	15,533	15,616	15,782	15,676	15,841	15,936	15,792	16,017	15,781	16,002	15,926	16,019	16,180	16,265	16,276	314,258	
歳入一歳出	772	0	198	290	38	45	87	372	397	410	711	535	628	858	636	779	675	815	659	885	966	968	1,116	11,214	

(単位:百万円)

歳出	14(決算)	15(予算)	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	H17～36
1 人件費	1,779	1,840	1,596	1,596	1,596	1,596	1,596	1,596	1,596	1,596	1,596	1,596	1,596	1,596	1,596	1,596	1,596	1,596	1,596	1,596	1,596	1,596	1,596	31,920
2 物件費	1,995	2,210	2,035	2,055	2,076	2,097	2,118	2,139	2,150	2,161	2,172	2,183	2,194	2,201	2,208	2,215	2,222	2,229	2,233	2,237	2,241	2,245	2,249	43,625
3 維持補修費	38	47	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	780
4 扶助費	568	446	573	601	604	607	609	613	628	628	628	628	628	616	616	616	616	616	596	596	596	596	596	12,234
5 補助費等	822	905	839	847	855	864	873	882	886	890	894	898	902	902	902	902	902	902	902	902	902	902	902	17,811
6 普通建設事業費	712	1,102	674	1,124	1,453	1,713	1,371	674	674	674	674	674	674	674	674	674	674	674	674	674	674	674	674	16,445
7 災害復旧費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 失業対策事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9 公債費	305	315	297	167	298	348	379	418	472	599	680	734	789	846	901	945	993	1,040	1,083	1,091	1,137	1,171	1,172	15,263
10 積立金	213	22	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	800
11 投資及び出資金	20	34	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	400
12 貸付金	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	2,160
13 繰出金	875	973	831	827	832	914	942	907	907	907	907	907	907	907	907	907	907	907	907	907	907	907	907	18,027
14 前年度繰上充用金・予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歳出計	7,435	8,002	7,052	7,424	7,921	8,346	8,095	7,436	7,520	7,662	7,758	7,827	7,897	7,949	8,011	8,062	8,117	8,171	8,198	8,210	8,260	8,298	8,303	159,465

歳入	14(決算)	15(予算)	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	H17～36
1 地方税	3,514	3,303	3,438	3,462	3,383	3,408	3,451	3,389	3,432	3,476	3,414	3,463	3,514	3,458	3,509	3,562	3,505	3,557	3,610	3,552	3,605	3,659	3,600	70,009
2 地方譲与税	94	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	2,000
3 利子割交付金	46	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	760
4 地方消費税交付金	225	238	247	247	247	247	247	247	247	247	247	247	247	247	247	247	247	247	247	247	247	247	247	4,940
5 自動車取得税交付金	96	93	93	93	93	93	93	93	93	93	93	93	93	93	93	93	93	93	93	93	93	93	93	1,860
6 地方特例交付金	118	115	116	116	116	116	116	116	116	116	116	116	116	116	116	116	116	116	116	116	116	116	116	2,320
7 地方交付税	1,344	1,052	1,010	970	931	894	858	823	823	823	823	823	823	823	823	823	823	823	823	823	823	823	823	16,821
8 交通安全対策特別交付金	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	100
9 分担金及び負担金	6	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	120
10 使用料及び手数料	190	196	181	181	181	181	181	181	181	181	181	181	181	181	181	181	181	181	181	181	181	181	181	3,620
11 国庫支出金	259	317	271	501	545	680	514	296	296	296	296	296	296	296	296	296	296	296	296	296	296	296	296	6,976
12 県支出金	358	382	326	326	326	326	326	326	326	326	326	326	326	326	326	326	326	326	326	326	326	326	326	6,520
13 財産収入	8	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	40
14 寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15 繰入金	432	510	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	100
16 繰越金	237	103	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	800
17 諸収入	335	669	310	310	310	310	310	310	310	310	310	310	310	310	310	310	310	310	310	310	310	310	310	6,200
18 町債	378	873	746	956	1,196	1,315	1,210	879	879	879	879	879	879	879	879	879	879	879	879	879	879	879	879	18,741
歳入計	7,645	8,002	6,934	7,358	7,524	7,766	7,502	6,856	6,899	6,943	6,881	6,930	6,981	6,925	6,976	7,029	6,972	7,024	7,077	7,019	7,072	7,126	7,067	141,927
歳出計	7,435	8,002	7,052	7,424	7,921	8,346	8,095	7,436	7,520	7,662	7,758	7,827	7,897	7,949	8,011	8,062	8,117	8,171	8,198	8,210	8,260	8,298	8,303	159,465
歳入一歳出	210	0	118	66	397	580	593	580	621	719	877	897	916	1,024	1,035	1,033	1,145	1,147	1,121	1,191	1,188	1,172	1,236	17,538